



報告事項

2024-2025 第 5 回ガバナー協議会 2025/6/20

報告事項 1

協議会議長

藤井 信英

一般社団法人日本ライオンズ執行理事会・理事会・社員総会 報告

- 【一社日 L】 第 7 回理事会議事録 (2025/02/12 開催)P6~14
- 【一社日 L】 第 8 回理事会議事録 (2025/03/12 開催)P15~18
- 【一社日 L】 第 3 回社員総会議事録 (2025/03/12 開催)P19~26
- 【一社日 L】 第 9 回理事会議事録 (2025/04/15 開催)P27~37

報告事項 2

LCIF コーディネーター

高岡 英治

DGE/地区コーディネーター研修について

LCIF 日本リーダーズ会議(第 6 回引継ぎ会)

2025 年 5 月 27 日(火) 9:30~11:30 ウィンクあいち 9 階 901 会議室

DGE/地区コーディネーター研修

2025 年 5 月 27 日(火) 13:30~17:00 会議室 : 901

2025 年 5 月 28 日(水) 9:30~15:00 会議室 : 1103

- ①会議・研修会案内P38~39
- ②会場案内P40
- ③出席者名簿P41
- ④次第P42
- ⑤次期 8MD 内各準地区 DGE・LCIF コーディネーターリストP43
- ⑥寄付一覧 (6/9 速報値)P44

報告事項 3

GMT コーディネーター

宮本 浩二

☆ 8 複合 GMT コーディネーター会議開催について

2025 年 5 月 27 日 (火) 10:00~11:30 (90 分) Web 会議開催

MISSION1.5 進捗報告について意見交換

次年度は GATJapan エリアリーダーにも参加を要請する。

複合地区からの進捗状況報告は、8 複合共に引き続き毎月おこなう。

☆ MISSION1.5・GMA 進捗確認会議 (GMT・GET・FWT 合同) 開催について

新旧役員引継ぎ連絡会議として開催

第 5 回 MD336MISSION1.5・GMA 進捗会議 (GMT・GET・FWT 合同会議)

2025 年 5 月 23 日 (金) 11:00~12:00 (60 分) リアル会議開催

☆ MISSION1.5・GMA 進捗状況について

GATJapan へ MD336 として毎月報告をすることが出来た。準地区各地区ガバナー及び地区コーディネーターに感謝。次年度も継続していただきたいと思ひます。

【最新進捗状況】 (2025 年 5 月 20 日現在)

- A 地区：入会：431 名・退会：417 名 純増： 14 名
新クラブ新設：3 新クラブ支部新設：11
- B 地区：入会：202 名・退会：181 名 純増： 21 名
新クラブ新設：1 新クラブ支部新設： 2
- C 地区：入会：178 名・退会：151 名 純増： 27 名
新クラブ新設：0 新クラブ支部新設： 3
- D 地区：入会：310 名・退会：139 名 純増： 171 名
新クラブ新設：4 新クラブ支部新設： 2

- MD336：入会：1,121 名・退会：888 名 純増：233 名
新クラブ新設：8 新クラブ支部新設：18

- ☆ ミッション 1.5 サミット～成長の文化を培う～開催について
 2025年6月2日(月)～3日(火)(チェックイン6月1日(日))
 2日(月)9:00～17:00 3日(火)9:00～15:00 名古屋 TKP ガーデンシティ
 対象者:地区ガバナーエレクト・次年度複合地区及び準地区 GMT・GET コーディネーター

MD336 MISSION1.5 進捗報告書(2024.7月～2025.5月)P45～51

報告事項 4	
GLT コーディネーター	西尾 慎一

336 複合地区ミッション 1.5 研修会
 日時:2025年5月23日(金) 13:30～17:00
 場所:岡山国際交流センター B1F「レセプションホール」
 〒700-0026 岡山市北区奉還町 2-2-1

報告書.....P52

報告事項 5	
アラート委員会委員長	西尾 慎一

【一社日 L】第 7 回委員会議事録(2025/04/08 開催)P53～58

報告事項 6	
会則および付則運営マニュアル編集委員会委員長	松岡 諒

【MD336】第 4 回委員会議事録(2025/03/21 開催) P59

報告事項 7	
青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止・平和ポスター委員会委員長	春木 扶佐子

1. 各準地区の年間活動報告

A 地区

・ライオンズクエスト交付金 承認金額 11,300 ドル 期間を 2025 年 8 月まで延長

2024年8月9日	香川県高松市	高松市内小・中学校・他対象	22名	高松東 LC
8月20日	徳島県鳴門市	鳴門市内幼保・小・中学校対象	19名	鳴門 LC
8月23日	高知県土佐市	高知市内小・中学校対象	16名	土佐 LC
2025年3月21日	高知県高知市	メンバー対象	35名	6R7R

・薬物乱用防止教育認定講座 1R～9R 開催 薬物乱用防止教室 13クラブ 実施
 ・平和ポスターコンテスト 応募総数 3,264 枚 参加クラブ 77
 MD336 優秀賞 武智 結菜さん (松山湯築 LC)

B 地区

・ライオンズクエスト交付金 2026 年度申請に向けて計画中

2025 年「簡易版ワークショップ」を教育関係者・ライオンズメンバー向けに開催予定
 ライオンズメンバーに「説明員」の資格取得者の育成を計画

C 地区 D 地区のセミナーや WS に、役員他、多数が参加されて LQ について勉強

・薬物乱用防止教育認定養成講座 鳥取県 28 名 岡山県 23 名 参加
 ・平和ポスターコンテスト 応募総数 673 枚 参加クラブ 16
 MD336 最優秀賞 山本 視栄さん (岡山ハーモニー LC)

国際審査 優秀賞 23 作に入賞 ライオン誌春号、web マガジンに掲載されています

C 地区

・ライオンズクエスト交付金 1 月申請 申請金額 20,000 ドル 期間 1 年間 承認

- 2024年7月25日26日 福山市 福山市内私立校対象 15名 1R1Z 福山地区
 7月26日 広島市 広島市立亀崎小学校 16名 3R3Z 可部地区
 9月28日 広島市 メンバー対象 18名
 9月29日 福山市 メンバー対象 23名
 2025年3月27日 広島市立亀崎中学校 17名 宮島口 LC
 ・薬物乱用防止教育認定養成講座 西部地区55名・東部地区57名 参加
 ・平和ポスターコンテスト 応募総数 7.472 参加クラブ 59
 MD336 優秀賞 棚田 珠来里さん (広島清流 LC)

D 地区

- ・ライオンズクエスト交付金 1月申請 申請金額 30.000ドル 承認済み

- 4月26日(土)メンバー対象のWS開催 島根県出雲市 15名
 4月27日(日)メンバー対象のWS開催 山口県山口市 21名
 ・薬物乱用防止教室 小・中学校にて 島根県11校 山口県31校 開催
 薬物乱用防止教育認定養成講座 島根県27名 山口県28名 参加
 ・平和ポスターコンテスト 応募総数 1.349 参加クラブ 39
 MD336 優秀賞 宮崎 心さん (下関北 LC)

2. 2025-2026年度 平和ポスター・コンテストテーマ 「ひとつになって」
 キットの販売 1/15~10/1 今年度より紙版とデジタル版のキットの販売

・2025年11月20日(木) 迄に複合事務局宛に各地区より1点をお送りください。

12月上旬に複合地区にて最終審査会を実施し、1点を国際協会へ提出いたします。
 なお、最優秀賞として国際協会へ提出された作品につきましては返却されません。

MD336 内 LQ ワークショップ開催実績 (2018/7月~2025/6) P60
 8MD ワークショップ開催状況 (2018/7~2025/5 現在) P61

報告事項 8

公益財団法人日本ライオンズ理事 池原 堅

税額控除に係る証明書について
 ※補足説明

証明証 P62

報告事項 9

未来ビジョン委員会委員長 池原 堅

今期3月度以降の活動はありません

【MD336】第4回委員会議事録 (2025/03/18 開催) P63~69

報告事項 10

YCE・国際関係・レオ委員会委員長 小銭 和明

- ① 2024-2025 年度夏期 交換(派遣/受入)について

派 遣

台 湾 2025年8月4(月)~8月17日(日)
 8名 (MD336 内 各地区男子1名・女子1名)
 ※8/4の台湾生帰国便に同乗
 ※キャンプ 8/8~14 費用1人あたり300ドル

コロラド州 2025年7月6日(日)~7月25日(金) キャンプ20~25日
 キャンプ費用450ドル(現地払い)
 1名 (日本から2名選抜、もう1名は332-E地区)
 スポンサークラブ: 浜田亀山 LC

受 入

台 湾 2025年7月22日(火)~8月4日(月)
 8名

- ・ A 地区(高知 LC)男子 1 名 (松山城東 LC 高松源平 LC)女子 2 名
- ・ B 地区(玉野 LC 湯原 LC)女子 2 名
- ・ C 地区(三原浮城 LC)女子 1 名
- ・ D 地区(江津 LC 松江湖城 LC)男子 2 名

モルドバ

2025 年 7 月 15 日 (火) ～ 8 月 10 日 (日)
2 名

- ・ B 地区(岡山みらい LC) 女子
- ・ D 地区(萩ライオンズ LC)女子

キャンプ

A, B 地区合同開催 7/27～31
C, D 地区合同開催 7/25～27

【一社日 L】 第 5 回委員会議事録 (2025/04/14 開催)P70～72

報告事項 11

環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長

占部 智之

献血実績 (2025 年 1 月～4 月)P73

報告事項 12

IT・M・L 情報委員会委員長 / 一社日 L ライオン誌日本語版委員会委員

佐々木 孝之

1. PR マーケティング委員会

第 1 回

日時：2025 年 4 月 25 日 (金) 14：00～16：30

形式：WEB 併用

- 議案：①PR マーケティング委員会のミッション
②各複合地区の委員会活動に関する情報交換
③8 複合地区共通のマーケティング関連の課題
④ライオン誌の活用とウェブマガジン普及
⑤その他

2. ライオン誌日本語版委員会

第 9 回

日時：2025 年 4 月 7 日 (月) 14：00～16：00

形式：WEB

- 議案：①ライオン誌日本語版の運営 ②ウェブマガジン編集関係
③刷版編集関係 ④その他

第 10 回

日時：2025 年 5 月 12 日 (月) 14：00～16：00

形式：WEB

- 議案：①ライオン誌日本語版の運営 ②ウェブマガジン編集関係
③刷版編集関係 ④その他

【一社日 L】 第 1 回マーケティング委員会議事録 (2025/04/25 開催) P74～78

【一社日 L】 第 9 回報告書 (2025/04/07 開催) P79～81

【一社日 L】 第 10 回報告書 (2025/05/12 開催) P82～84

MD335 もっとライオンズパンフ P85～86

ライオン誌 SNS 登録者の推移と利用状況..... P87

報告事項 13

国際大会委員会委員長 (一社日 L 国際大会委員会 MD336 担当委員)

市村 通夫

第 107 国際大会

開催日程：2025 年 7 月 13 日～17 日

開催地：フロリダ州・オーランド

・ 6/10 現在の登録者数：52 名 (内現地参加者数：43 名)

第 62 回 OSEAL フォーラム

開催日程：2025 年 10 月 23 日（木）～26 日（日）

開催地：札幌

・6/10 現在の登録者数：166 名

【札幌大会 HP】 <https://2025oseal.com/>

	会員数 2024.11 末現在	構成比	要請数
336- A	4,993	38.9%	408
336- B	2,396	18.7%	196
336- C	2,793	21.8%	229
336- D	2,645	20.6%	217
MD336	12,827	100%	1,050

その他報告事項

2024-2025年度

一般社団法人日本ライオンズ 「第7回理事会」議事録

開催日時：2025年2月12日（水）14：00-17：00

場 所：長崎県長崎市「長崎県建設総合会館 5階第1会議室」+Zoom

出席者リスト

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)
副理事長	喜多 友一	(上田城南)
副理事長	澤 辰水	(下関)
専務理事	中谷 豊重	(岸和田)
常務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)
常務理事	諏訪 昇三	(札幌時計台)
常務理事	渡邊 俊弥	(仙台五城) 【欠席】
常務理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)
常務理事	廣田 晃一	(姫路中央)
常務理事	藤井 信英	(岡山みらい)
常務理事	濱田 浩平	(長崎南)
理事	田中 雄一	(狭山) 【Web】
理事	栗村 安弘	(大船渡) 【欠席】
理事	星野 勝美	(太田)
理事	戸祭 宏樹	(鯖江玉山)
理事	新里 正雄	(沖縄)
理事 ('23-25国際理事)	城阪 勝喜	(大阪港) 【Web】
理事 ('23-25国際理事)	濱野 雅司	(岩槻)
理事 ('24-25 LCIF理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島) 【欠席】
理事 (前理事長)	田名部 智之	(八戸)
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)
監事 (MD332元議長)	下間 俊悦	(男鹿) 【Web】
監事 (MD333元議長)	石橋 貞	(足利西) 【欠席】
監事 (MD335元議長)	小林 聡	(姫路広陵)
監事 (MD337元議長)	乗田 泰	(伊万里) 【Web】

オブザーバー

'25-27 国際理事候補者	仁科 良三	(長野みすず)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖)
法律顧問	池田 和司	(東京桜門) 【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野) 【欠席】
理事長事務局補佐	南部谷 靖	(岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐	成田 祐樹	(岩見沢はまなす)

◇開会宣言

理事長 松浦 淳一

◇出席者確認

過半数が出席のため成立。交通機関の乱れにより渡邊常務理事が急遽欠席。

◇議事録作成人の指名

星野理事・戸祭理事が指名される。

1. 審議事項

①第3回定時社員総会（全国ガバナー会）開催の承認

・開催概要の確認

中谷専務理事より資料にて概要説明。報告事項については日本ライオンズ活動報告として各種委員会報告、監事報告等、GAT・公益財団法人日本ライオンズ・LCIF 活動・OSEAL フォーラム委員会報告等、例年通りの流れとする。

・当日の審議事項について

松浦理事長より、会費の値上げについての提案としたい旨の説明。

・参加対象者について

24-25 年度一般社団法人日本ライオンズ正社員 60 名(ガバナー35 名、理事会構成員 25 名)、日本ライオンズ法律顧問、会計顧問、事務局補佐、事務長とする。オブザーバー参加者については名誉理事長である山田元国際会長、GAT 関係者としてエリアリーダー、サブエリアリーダーとし、また第 1・第 2 副地区ガバナーへ向けた YouTube でのストリーミング配信も行う事とする。

・開催概要について全会一致で承認された。

2. その他協議および確認 報告事項

註：2月12日の会議開催時点でのデータとなり、最新情報とは異なる箇所がございます。

②会費値上げについて

・想定問答集内容の検討

増澤事務長より収支予想変更点について2種類の2025年度支出予想案を元に説明。どちらも賛助会費を現状の80円とした試算となり、収入の部でライオン誌送料(現在の個人発送からクラブ発送へ切り替える前提で計算)と各種会議旅費分担金収入約200万(プール計算)を会費の値上げによって各複合からいただく、社団で支払う事とした場合(A案)、現状の支出とした場合(B案)の比較となる。

支出の部ではライオン誌の送料が1,710万かかっていたものが個人配送を辞めてクラブ配

送のみとすることで 806 万ほどに下がる。

ライオン誌デジタル版関連費では現在の執行額が予算の 1 割未満となっているが、外注で行っていたライオン誌取材を各複合育委員やクラブ、社団の職員が取材を行うなど内製化の努力の結果である。ただし来期予算は現状のままでの計上としている。

国際大会・アジアフォーラム関係の 600 万については OSEAL 札幌大会があり、事務員派遣やジャパンレセプションでの社団負担分、備品購入などを考慮し予算増とした。

職員の退職金の支給を行う給与規定の変更に伴い、退職金引当のため 72 万を計上した。

旅費交通費については各種委員会ともに対面会議が増え、社団の事務所内で行うことが多くなった。現在各委員長の会議参加のための旅費・交通費は各 MD がプール制という形で負担をしている。後述するが会費値上げの際には廃止し社団で旅費を支払うことも考えなくてはいけないと思われるため、予算案では金額を上げて計上している。

印刷費は会議資料などの印刷費。紙の値段も上がっている。

通信費については請求書の送付のシステムを作成中であり、切手代が上がっているがメールで送付出来るようにして下げる努力をして 40 万の削減とした。

水道光熱費は価格高騰により 100 万から 130 万とした。減価償却費についてもプリンタなど償却する資産があるため 80 万とした。その結果収支予想 A では 1,311 万、B では 2,297 万のマイナスとなる。以上のシミュレーションを元に賛助会費の値上げをお願いしたい。

会費値上げの件について追加説明。2024 年度予算案と 2025 年度収支予想 B との比較。

収入 3,000 万の減少についてはライオン誌の送料収入が社団から各準地区キャビネットへ送付するため各クラブからの収入が 0 となり、プール金制度を廃止し社団の負担に、頒布品収入が今年度は役員必携のみ発行予定でありライオンズ必携を発行しない事が主となる。支出の減少 1,000 万についてはライオン誌直接出版費、頒布品原価等。つまり社団としては支出を減らす努力はしているが、それ以上に会員の減少であったり、ライオン誌の収入がなくなったりで大きく収入が減ってしまっているため、是非みなさんご理解ご協力をいただきたい。というのが大まかな所。続けて地区・複合からの質問を元に作成された資料を元に説明。

2023-2024 年度においてプラスなのになぜ会費値上げが必要なのかという事に対して、2024 年度予算は赤字であり、積立金 727 万円を取り崩している。取り崩さないと単年黒字にはなっていない。また会員減少が進んでおり賛助会費収入やライオン誌補助金収入も減っており、特にライオン誌補助金はドルベースなので円高になればさらに収入減となる。経費削減の努力について説明。理事会構成員の旅費支給削減を主とし、ライオン誌編集内製化など総額で年間 3,000 万を節減。

ライオン誌を個人発送からクラブ発送へ切り替えの場合の詳細。各クラブからいただいた 1,533 万の送料負担がなくなり、送料自体も 778 万の削減となる。

委員会旅費について、賛助会費値上げにより現在のプール制を廃止した場合、各 MD の負担は年間 110 万ほど減少する見込み。

事務費(人件費)の今後の推移については、ライオン誌や社団の既存の職員が退職等により、新しい方の入社とその教育で、今後様々な業務を担っていただく事で現行の体制で今後も

進められるように体制づくりを行っている。

今後の経費削減について、先に挙げたライオン誌クラブ発送への切り替えや、オンライン会議の頻度を上げる、現在持ち回りで開催している理事会を東京で行うことにより会議会場費の削減などが考えられる。

値上げ額 80 円の根拠について、年平均 200 万人ずつの会員減少による賛助会費の収入減、円高が進むことによるライオン誌補助金の減少。

来期予算案が 2,300 万の赤字であるが 80 円の値上げとすれば 7,000 万の収入増となり、今後の会員減少や円高の影響を考慮しても 7 年前後は耐えられる財務体質となる。

会費値上げによる YCE の対応については、委員会で協議をいただく。

会費値上げによる会員へのメリットについて説明。先述のライオン誌発送・プール金の負担減少等。

複合年次大会で否決された場合、該当する MD の取り扱いはどうなるかについては皆さんで協議いただきたい。各複合の年次大会で賛否を問うものなのか、社員総会で可決されたのであれば、報告事項としてしっかり報告して解決するものなのかを議論いただきたい。

喜多副理事長より、複合の年次大会で否決された場合について、334 の場合は社員総会で決定されたものを報告する。それを複合地区はそのまま準地区へという流れの予定。

社員総会で議案として挙げることについては、それまでにガバナー協議会でガバナー皆さんと協議をして社員総会に来てもらっているはず。

・ライオン誌の発送について

松浦理事長より、ライオン誌の発送については方針を前もって説明を行う予定である。アナウンスをすれば許可を得る必要はないと思う。

喜多副理事長より意見。事務局員が不在のクラブや、その時の会長の判断で個人にというのがあったかと思う。事務局員がいないクラブは送れないのでは。

→増澤事務長より回答：事務局がいない場合はクラブ幹事など三役の自宅住所が事務局住所となるのでそこにお送りする事は可能。

中谷専務理事より意見。ライオン誌を皆さんに見ていただくという観点から、クラブに送り、例会で配っていただいてそこで読んでいただくのが一つの手段である。

個人に送るとライオン誌を読まれない方もいる。その観点からもクラブに送らせて貰うように切り替えたとのアナウンスを理事長名で行えば良いかと思う。

その他理事会構成員からの意見として、

- ・今度から一律で個人には送付しないでクラブ宛に送ると通知すればよいかと思う。

- ・そもそも WEB 版のみで誌面がいらぬという話が出てくるのではないかな？経費削減ということであればそういう意見も出てくるのかと思う。

ライオン誌日本語版委員会委員長である星野理事からは、現時点で完全に WEB にするのはかなり難しいと思う。自クラブでアンケートを取ったが WEB で見ている人はごく僅か。2.3 年かけて普及させないとダメかと思う。

国際理事会方針書では年 2 回は紙で出すとなっている。日本では段階的に 12 回を 6 回、4

回と減らして、それを2回にするところで努力をしている所だが簡単にはいかないと回答。理事会構成員より、WEB版を見ているのはメンバー以外も含めて6,000名程度であり、10年というサイクルの中では電子版に変わっていくことも考えていく必要がある。資料印刷費についても削減のためペーパーレス化などの検討が必要であると意見。まずはクラブに誌面を発送するという事で皆さんと統一を図り、通達をしていきたいと思う。その上で予算の削減を進めていくこととする。

・その他

田中理事より意見と質問。

収支予想 A・B とあるが、80 円の値上げをした場合にどうなるかの収支予想を作っておいた方がよい。社団としての痛み・努力について伝わりにくい。収入が減るとするのはわかるが、ライオン誌については送料など、右から左なので痛みはない。さらに経費削減について努力を見せていく必要がある。

YCE については複合地区の労力低減が可能かというところだが、YCE 委員長としては社団でどこまで一括管理をしたいのか担当窓口を社団で全て出来るのか、社団の事務局員が専念してもらえるのか？

松浦理事長からは YCE については委員会で検討の上、提案を上げていただきたいと回答があり、増澤事務長からは今の社団の事務局で行うことは現状不可能無理である。行う場合には人件費がかかる。国際大会の予算が上がっているのは備品などさまざまな物価が上がっているためであると回答。

その他会費値上げと社員総会での審議へ向け、

予算を上げた場合の予算案を見せる必要があるため作成する。社員総会前に執行理事会がもう一度あるので皆さんが話をしやすいように準備をすることや、社団としての方針として社員総会が最大の決議機関であり議決をいただければ社団としては OK だが、それが複合ではどのような観点の位置づけになるかは、複合によっても違うことや、社団ではガバナーが正社員だが、賛助会員となっているのは MD で、会費をいただいていることの確認。社団幹部経験者の協力も得ながら複合で理解を得ていただきたい。MD により値上げの良し悪しではなく、賛助会費を払う・払わないの観点で意見が出ていると報告あり。

濱野国際理事からの意見。

田名部前理事長より意見。

事前の説明を丁寧に行った上で、賛助会費値上は報告事項として決議を取れば良いと思う。動議を拒否する事はできるのか？という質問があり、増澤事務長より年次大会の規則から議長に書面を出していない限り、またはガバナー協議会で検討していない限り議題として上げてはいけないとなっているので動議は取れない。セコンドが付いた場合も時と場所を変えて臨時のガバナー協議会をしないと行けないので、年次大会の中での動議は不可能であると回答。

結論として、定款に基づき 2 週間前には社員総会の議案として、会費の値上げの議案をガバナーの皆さんにはお知らせするので、ガバナーの皆さんにはお伝えした中での社員総会を迎えるようにする。社員総会の際に初めてガバナーが話を聞いたとならないように。説明

のための値上げを含んだ収支予測の数字の資料を準備し、議長よりガバナーに説明をしていただき社員総会に臨む。

続いて各議長より、MD内での状況などが報告され、社員総会議案について了承。

③能登サンタ事業報告と今後の奉仕事業指針について

・2月26日開催 第6回アラート委員会 議案の検討

アラート委員会副委員長 藤井常務理事より

アラートフォーラムの登録数は資料では目標490名に対し、453名となっているが、本日の時点で500名に到達して予定数を確保できた。委員・班長研修会については現在MD330から5名、MD331から1名、MD334から2名、MD335から2名、MD336が5名、MD337から1名の出席にて研修の予定となっており、アンケートを出しておりそれに基づいた内容で研修を行う。

2月14日には全国社会福祉協議会連絡会議にて協力団体として参加をして登壇をし、5.6分ほど能登災害についての話を行う予定。後日当日の議事録のようなものを作って皆さんにお送りする予定である。

増澤事務長より追加説明として、全社協から登壇をいただく藤井常務理事に謝金と交通費を出すと社団に話があったが、社団が受け取るわけにはいかないの、藤井常務理事に直接受け取っていただくようにご理解いただきたい。

・理事長からの文書案について（能登サンタ事業関係）

喜多副理事長より現状の報告。

334D杉木ガバナー、小出前ガバナーが当事者へ厳しい言葉で注意を行った。経過次第で改めて報告する。

松浦理事長より発信予定文書について説明。

クラブの理事会を通さず他MDを巻き込んだことや口座の問題など、事業の進め方に問題があった。そこで334D当該地区への注意文章、334D地区全体への文章、全国版では事業運営の手順を国際会則・附則に則った形で運営するようとの注意喚起の3つの文章を用意したのでご意見があればいただきたい。

全国版がかなり簡略化しており同様のトラブルの発生等の懸念について意見があり、文章も追記の上クラブ宛に発送してはとの意見があり、そのようにすることとした。

・能登ベース物品譲渡契約書の件

藤井常務理事より説明。

能登ベースの今後について334-D地区より輪島市や珠洲市など、必要とされるところに寄附されてはどうか伝えたところ、そうしようとなった。移設する費用は334-D地区の負担になる事を伝えた上で了解となった。そのため結果的にはこの物品譲渡契約書の内容で進めることとなった。今期中には完了いただくよう伝えており、3月までリースでプレハブ

をおいているのでそれからとなる。

MD334に譲渡契約をすることについて全会一致で承認された。

④2/3開催 第8回国際大会委員会報告

・オランダ国際大会の件

国際大会委員長 戸祭理事より報告。

公認TC規約を変更せず今年度のみ特例としてMD331公認TCをMD330・333公認TCが兼任する事を報告し認められた。パレードについては行進するだけでは目立たないという事で、音のなるものを手配予定。バンド手配についてもOSEAL調整事務局と進めている。頒布品であるアロハシャツ、キャップ、交換ピン、缶バッジの価格設定についても報告。ホテルについてはMDごとの希望数があり大会委員会では委員長了承を得ているが、本当に調査して部屋数がこれであるのか確認いただきたい。アンケートとしてではなく実数調査が必要。部屋が余るとデポジットは旅行会社が持つので迷惑がかかる他、OSEAL調整事務局を通じて国際協会からのクレームがある。各MDで早急に実数を決めるように議長には協力いただきたい。

頒布品価格について全会一致で承認された。

松浦理事長より追加説明。

ホテルについては公認TC手配のホテルをご利用いただき、キャンセルをしないで欲しい事と、公認のTC間では宿泊料に上乗せはされない。

各MD大会委員長とコンタクトをとっていただいて全員が同じホテルに泊まり、仁科・田名部両国際理事候補者を応援するような体制でオランダ大会に臨んでいきたいので徹底をお願いしたい。

・第62回OSEALフォーラム 最新情報

諏訪常務理事より説明と報告。

2/3にOSEALフォーラム札幌のホームページがアップデートされた。

委員会として色々準備をしている所であるが、OSEAL調整事務局から本来の正しい形のOSEALフォーラムを進めるようにと要望があり、色々な変更点が出てきて調整を行っている。

早期登録について、カード決済ではなく振込での対応も可能となった。登録についてはホームページからの登録のみとなっている。1回につき50名までしか登録が出来ないのでそ

れ以上いる場合は2回にわたっての登録をお願いしたい。HP上のべ切は2月末となっているが日本は3月末まで。MDの選択をする事で日本という事が判別され、早期登録料が適用されるので必ず選択をしていただきたい。振込いただく際、名義に「ライオンズクラブ国際協会」と入れると文字数に入りきらず、クラブ名がわからなくなるので省略していただきたい。

⑤2024-25年度役員必携 発行部数およびスケジュールの件

会則委員長 中谷専務理事より報告。

役員必携頒布価格について決めたい。原価については資料の見積通り。

前回は600円での頒布であったが印刷費用も高騰しており650円で予備200部込みで9,200部で発注してはどうかと提案。

650円での頒布と発注は9,200部として承認。

⑥ロサンゼルス山火事被災者のためのLCIF支援依頼の共有

中谷専務理事より説明。

LCIFより1人1,000円を目安に寄付をお願いしたいとのメールが配信されており、鶴嶋LCIF理事からも呼びかけあり。

理事長名で案内を出すこととなった。

⑦2025年11月開催 第6回レオフォーラムについて

廣田常務理事より報告。

335MDで委員会を開催し、城阪国際理事にも参加していただき、どう進めるか議論をした。社団の皆さんにも講演などをお願いしたい。

レオの学生たちにも呼びかけをし、一緒に盛り上げようと言ったところ、50名の参加のうち20名強が是非参加したいとの声があった。ご案内については次回開催概要など文書案をださせていただきたいのでご検討、ご協力をお願いしたい。

城阪国際理事

レオの責任者には各所と相談の上早く決めるように言っているので追々資料を提出出来るかと思う。本来OSEALフォーラムとレオと一緒にやるのが正解だと思うが、今回は時間もなく札幌に迷惑をかけるわけにもいかないのでMD335主催でやらせていただくことに協力してもらいたい。

松浦理事長からは、アラートの件と同じく、組織で行う事業であることの再確認。

組織の在り方を遵守しながら強く進めていただき後援していきたい。

⑧その他

増澤事務長より報告。

ダイナースカードから支払明細書が来て41,753円、社団に振り込まれている。だいたい一年で80,000円くらいなので例年と同じくらいであると報告。

その他社団にクレームが寄せられていた、複合地区内でのメンバーと一般の方とのトラブルについて該当地区議長より状況説明が行われた。

中谷専務理事より報告。6/1-3のミッション1.5のサミットを開催する情報がOSEAL調整事務局よりあり。追って研修対象者には案内が行く予定。

監事講評

小林監事

長時間お疲れ様でした。自分が議長であった時にくらべ和気藹々で空気が変わったかと思う。

3. 今後の予定について

- ・ 2/20 (木) 14:00- 上半期会計監査 日本ライオンズ事務所
 - ・ 3/5 (水) 13:30- 第7回執行理事会 WEB
 - ・ 3/12 (木) 13:30- 第3回全国ガバナー会(社員総会) AP日本橋Gルーム
- ※午前中に日本ライオンズ事務所で第8回理事会を開催予定

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

以上

2025年2月12日

議事録作成人:

理事 星野 勝美

理事 戸祭 宏樹

議事録署名人:

理事長 松浦 淳一 【押印省略】

監事/MD332 元議長 下間 俊悦 【押印省略】

監事/MD335 元議長 小林 聡 【押印省略】

監事/MD337 元議長 乗田 泰 【押印省略】

2024-2025年度

一般社団法人日本ライオンズ「第8回理事会」議事録 訂正版

開催日時：2025年3月12日（水）11：00-12：00

場 所：日本ライオンズ事務局（東京都八重洲）

出席者リスト

理事長	松浦 淳一	（岩見沢はまなす）
副理事長	喜多 友一	（上田城南）
副理事長	澤 辰水	（下関）
専務理事	中谷 豊重	（岸和田）
常務理事	伊賀 保夫	（東京ピース）
常務理事	諏訪 昇三	（札幌時計台）
常務理事	渡邊 俊弥	（仙台五城）
常務理事	佐藤 裕幸	（柏崎日本海）
常務理事	廣田 晃一	（姫路中央）
常務理事	藤井 信英	（岡山みらい）
常務理事	濱田 浩平	（長崎南）
理事	田中 雄一	（狭山）
理事	栗村 安弘	（大船渡）
理事	星野 勝美	（太田）
理事	戸祭 宏樹	（鯖江玉山）
理事	新里 正雄	（沖繩）
理事（'23-25国際理事）	城阪 勝喜	（大阪港） 【欠席】
理事（'23-25国際理事）	濱野 雅司	（岩槻）
理事（'24-25 LCIF理事）	鶴嶋 浩二	（札幌中島） 【欠席】
理事（前理事長）	田名部 智之	（八戸）
理事（公益財団法人日本ライオンズ理事長）	小野寺 眞悟	（札幌北の杜）
監事（MD332元議長）	下間 俊悦	（男鹿）
監事（MD333元議長）	石橋 貞	（足利西）
監事（MD335元議長）	小林 聰	（姫路広陵） 【欠席】
監事（MD337元議長）	乗田 泰	（伊万里） 【欠席】
<u>オブザーバー</u>		
'25-27 国際理事候補者	仁科 良三	（長野みすず）
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	（諏訪湖）
法律顧問	池田 和司	（東京桜門）
会計顧問	吉田 宗一郎	（東京武蔵野）
理事長事務局補佐	南部谷 靖	（岩見沢はまなす）
理事長事務局補佐	成田 祐樹	（岩見沢はまなす）

◇開会宣言

理事長 松浦 淳一

1. 議事録作成人の指名

事務局補佐の南部谷L・成田Lが指名される。

2. 協議及び確認事項

①3/12 13：30～ 第3回定時社員総会（全国ガバナー会）

進行の確認

- ・議事録作成人は渡邊常務理事、佐藤常務理事とする。署名人は総会時に決定。
- ・議長は松浦理事長となるため理事長が進行する。議案の進行は中谷専務理事が行う。

議案についての確認

・第1号議案 一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件
松浦理事長より改めて各MDの状況を確認したいと呼びかけがあり、各議長より報告がなされた。

MD330 伊賀常務理事

前期MD会費を値上げた分で今期の賛助会費値上げを支払う。来期以降は改めて検討するが今期については賛成を頂いている。

MD331 諏訪常務理事

全ガバナーから承認をいただいている。

MD332 渡邊常務理事

原則的には値上げそのものについては反対ではないが、値上げをする理由について質問があると思われる。

MD333 佐藤常務理事

基本的には値上げやむなしとの意見であるが、会員減少を考えての反対意見もある。

MD334 喜多副理事長

MD内の状況について、前回と同じくすべて賛成頂いている。

MD335 廣田常務理事

説明不足を理由とした反対意見があるが、総会で決定したことについては準地区としては遵守するといっている。

MD336 藤井常務理事

基本的には理解していただいているものと考えている。

MD337 濱田常務理事

全ガバナーから了承をいただいている。複合の年次大会の前の準地区の年次大会で報告して良いのかどうか。

→社員総会での決定後の年次大会での報告となるため、各ガバナーの判断で報告していただいている問題ないと回答。

栗村理事

ガバナーが忌憚のない意見を言える組織であることが重要である。

松浦理事長

理事会の中で何度も丁寧に協議を重ねてきた議案である。社員総会に臨むにあたり各議長もガバナー達に対して丁寧に話をさせていただいている。

田名部前理事長

理事会で議決がなされれば、理事会構成員としてその決定に従い、ガバナーに理解をいただけるよう進めていくことが大切である。

社団としての考えを理解していただけるよう、丁寧に説明することが重要。

②第6回OSEALレオフォーラム配信文書名義貸しの件

廣田常務理事

松浦理事長名で全国にレオフォーラムの案内を出すことを承認いただきたい。

→賛成多数のため承認。文章についてはMD335へ一任となる。

3. その他

①第62回札幌フォーラム 職員派遣について

増澤事務長より事務職員の派遣について説明。

→賛成多数のため承認。

②アラート委員会 大船渡山火事災害支援対策本部MTG報告

藤井常務理事より今後の支援について。地区外への発信は控えて332B地区内で支援することとした報告。

渡邊常務理事・栗村理事より支援のお礼と、MDでサポートしていく旨の報告があった。

③その他

増澤事務長より職員の中退共加入に関して報告事項。

昨年7月からの新雇用体制で退職金規程に従って中退共加入手続きしたが、最初の7月分については、理事長交代などで手続き期限に間に合わなかったため、引き落としがなされてない。退職給与引当金(10,000円*4名分 計40,000円)がずっと残るのは良くないが3月分給与の中で支払うと所得税、住民税で10%ずつ税金がかかるので、12,000円を上乗せして予備費から支出することとした。

・次回理事会開催予定

・第8回執行理事会 2025年4月3日(木) 13:30- WEB開催

・第9回理事会 2025年4月15日(火) 14:00-17:00 姫路

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

議事録作成人：

事務局補佐

南部谷 靖

事務局補佐

成田 祐樹

議事録署名人：

理事長

松浦 淳一 【押印省略】

監事/MD332 元議長

下間 俊悦 【押印省略】

監事/MD333 元議長

石橋 貞 【押印省略】

2025年3月12日(水) 13:30-16:00

AP日本橋 G ルーム

出席者リスト

<正社員> 2024-25年度

330-A 地区ガバナー 森 亮介
 330-B 地区ガバナー 倉田 雅史
 330-C 地区ガバナー 猪野塚 弘樹
 331-A 地区ガバナー 美田 法賢
 331-B 地区ガバナー 伊東 隆志
 331-C 地区ガバナー 齋藤 尚仁※【欠席】
 332-A 地区ガバナー 吉澤 俊寿
 332-B 地区ガバナー 平野 嘉男※【欠席】
 332-C 地区ガバナー 佐藤 久一郎
 332-D 地区ガバナー 車田 信彦
 332-E 地区ガバナー 安孫子 英彦
 332-F 地区ガバナー 長澤 源一
 333-A 地区ガバナー 高頭 八郎※【欠席】
 333-B 地区ガバナー 福田 智恵※【欠席】
 333-C 地区ガバナー 大瀧 勝明
 333-D 地区ガバナー 染谷 文雄※【欠席】
 333-E 地区ガバナー 椎名 健二
 334-A 地区ガバナー 柴田 高志
 334-B 地区ガバナー 丹羽 浩康※【欠席】
 334-C 地区ガバナー 鷹嶋 邦彦※【欠席】
 334-D 地区ガバナー 杉木 徹
 334-E 地区ガバナー 浜 一平
 335-A 地区ガバナー 永田 雅章※【欠席】
 335-B 地区ガバナー 古川 繁浩※【欠席】
 335-C 地区ガバナー 野々山 宏※【欠席】
 335-D 地区ガバナー 今市 明弘
 336-A 地区ガバナー 石井 淑雄
 336-B 地区ガバナー 上原 正樹
 336-C 地区ガバナー 鳴戸 大二※【欠席】
 336-D 地区ガバナー 神田 義満
 337-A 地区ガバナー 矢野 進※【欠席】
 337-B 地区ガバナー 武永 健治郎※【欠席】
 337-C 地区ガバナー 為永 一夫※【欠席】
 337-D 地区ガバナー 宇都 要一
 337-E 地区ガバナー 吉井 本

(2024-25年度)

一般社団法人日本ライオンズ前理事長 田名部 智之
 公益財団法人日本ライオンズ理事長 小野寺 眞悟

(2024-25年度 協議会議長)

MD330 議長 伊賀 保夫
 MD331 議長 諏訪 昇三
 MD332 議長 渡邊 俊弥
 MD333 議長 佐藤 裕幸
 MD334 議長 喜多 友一
 MD335 議長 廣田 晃一
 MD336 議長 藤井 信英
 MD337 議長 濱田 浩平

(2023-24年度 協議会議長)

MD330 議長 田中 雄一
 MD331 議長 松浦 淳一
 MD332 議長 栗村 安弘
 MD333 議長 星野 勝美
 MD334 議長 戸祭 宏樹
 MD335 議長 中谷 豊重
 MD336 議長 澤 辰水
 MD337 議長 新里 正雄

(2024-25年度 新理事)

2023-25 国際理事 城阪 勝喜※【欠席】
 2023-25 国際理事 濱野 雅司
 2024-25 LCIF 理事 鶴嶋 浩二※【欠席】

(2024-25年度 監事) 2年任期の1年目

MD332 元議長 下間 俊悦
 MD333 元議長 石橋 貞
 MD335 元議長 小林 聰※【欠席】
 MD337 元議長 乗田 泰※【欠席】

※議決権行使書

正社員総数 60名 (出席 42名・欠席 18名)

【正社員】 第3回社員総会（全国ガバナー会）出席者数 内訳：

	出席	欠席※	小計
DG	21	14	35
理事	19	2	21
監事	2	2	4
<hr/>			
	42	18	60(名)

※議決権行使書受領済み

議決権行使書

第1号議案：一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件 賛 15 否 3

オブザーバー
【国際協会】

元国際会長 山田 實紘

【2024-25 日本 GAT】

エリアリーダー(統括)	鈴木 誓男
エリアリーダー(東日本)	小川 晶子
エリアリーダー(西日本)	松岡 勲
エリアリーダー(GLT/GST)	識名 安信 【欠席】
副エリアリーダー(MD330,333)	伊藤 和子 【欠席】
副エリアリーダー(MD331,332)	田名部 智之
副エリアリーダー(MD334,335)	大山 恭範
副エリアリーダー(MD336,337)	有本 みどり 【欠席】
副エリアリーダー(GLT/GST)	設楽 幸子 【欠席】
DGE グループリーダー	濱島 清美 【欠席】

【2025-27 年度 国際理事候補者】

仁科 良三

【OSEAL 調整事務局】

事務局長 マーズ 佐子

【顧問】

法律顧問	池田 和司
会計顧問	吉田 宗一郎

【一般社団法人日本ライオンズ事務長】

増澤 義治

【理事長事務局補佐】

南部谷 靖
成田 祐樹

以上

1.開会のことば

松浦理事長の挨拶の後、定款第 16 条の定めにより、理事長が議長に就任することを宣言され開会した。過半数の出席を得て、定足数を満たしているため、第 3 回社員総会が成立している事を確認。

続いて名誉理事長山田元国際会長、濱野国際理事、公益財団法人日本ライオンズ小野寺理事長、田名部前理事長、仁科国際理事候補よりご挨拶をいただいた。

2.議事録作成人・署名人の選出

議事録作成人として、MD332 渡邊常務理事・MD333 佐藤常務理事が選出。

議事録署名人は 330-A 森亮介ガバナー、332-A 吉澤俊寿ガバナーが選出された。

3.議事運営について

議長より、議事運営ルールが説明され、発言者は地区名と氏名を述べてから発言することを確認された。

4.審議事項

第 1 号議案 一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件

中谷専務理事より説明

2016 年 1 月 1 日に旧日本ライオンズ連絡事務所とライオン誌日本語版事務所が合併して以来、賛助会費の金額を 80 円に据え置いてきた。

2022 年より日本ライオンズ理事会構成員への会議出席へかかる交通費支給の廃止を行い、昨年度からはライオン誌誌面編集や出張の内製化を行うなど、経費削減へ取り組んでいた。しかしながら昨今の社会経済情勢を踏まえ、一般社団法人日本ライオンズ理事会では賛助会費の値上げについて慎重に協議を重ね、組織存続のため今後 2 年において 40 円ずつ、計 80 円の賛助会費の値上げを行い、最終的に賛助会費を 160 円とすることが 2025 年 2 月 12 日開催の第 7 回理事会にて承認された。よって皆様のご承認をいただきたい。

参加した地区ガバナーの意見として、

値上げ後のロードマップについて、具体的な説明がない。地区内での説明のためにも詳細な会費値上げ後や経費削減の計画書など資料の提示の希望、

かなりの金額の内部留保がある件について、金額の詳細な使い道についての質問と、近年の決算を見ても財政がすぐに破綻するわけではなく、値上げについては時期尚早であるという意見、会費値上げの開始について 1 年もしくは 2 年の猶予を求める声が寄せられた。

現在クラブに送料を負担いただいているライオン誌の発送方法を変更し社団が送料を負担する案についてはクラブ一括発送ではなく、引き続き個人発送を望む意見が地区により根強いことから、再度検討いただきたいという意見。松浦理事長・中谷専務理事より再度社団理事会にて検討を進めていく予定であると回答。

採決の結果、賛成 43 名 反対 14 名（議決権行使書による参加者を含む）詳細は以下の通り。

会場：	賛成 29	反対 11	棄権 2	
書面決議：	賛成 15	反対 3		
合計	賛成 44	反対 14	棄権 2	合計 60

過半数の賛成により、第 1 号議案 一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件 が可決。

- ・松浦理事長より、スムーズな進行と可決についての御礼の後、引き続き報告事項へ移る。

5.報告事項

・一般社団法人日本ライオンズ活動報告

松浦理事長より値上げの話在先ほどご承認いただいた。皆様から寄せられた意見を元に、より詳しい資料を準備し、賛助会費の値上げについてご理解いただけるようにしていくと報告された。

・各種行事開催報告

中谷専務理事より直近で開催した行事の報告。

◇国際大会委員会

・第 107 回オーランド大会最新情報

戸祭理事より報告。MD 公認 TC となっている旅行会社を使っていたきたい。

各地区の旅行会社もあると思うので無理にとは言えないが、例年予約をとったホテルでかなり空きがあり、OSEAL 調整事務局を通じ本部大会委員会よりクレームも入っている。是非ホテルだけでも公認 TC の手配した日本ホテル(ダブルツリーバイヒルトン・オーランドホテル・アット・シーワールド)ご利用をお願いし、確保している 335 室が埋まるように強くお願いしたい。

続いてパレード委員長である MD334 大山大会委員長よりパレードの説明。

・第 62 回札幌フォーラム最新情報(10/23-26)

諏訪常務理事より報告。現在月 1、2 回の会議を行い、開催準備を進めている。5 月 23～25 日にステアリング委員会があり、スケジュールなどはそこで最終決定する予定。フォーラム閉会式の後に行われる国際会長公式訪問を含めた現時点でのスケジュールの説明。最新内容についてはホームページを確認いただきたい。3 月 31 日までが早期登録となっており、さらに多くのご登録をお願いしたい。今後の国際協会における立場などを考え、札幌だけでなく日本全体で成功させることが重要であり皆さんの絶大なるご協力を賜りたい。支援金については 98%程度ご入金をいただいております。感謝申し上げます。

◇アラート委員会

新里理事より報告。大船渡山林火災対策本部をアラート委員会に設置し会議を行った。能登地震の際、情報統制が取れなかった件などの反省を踏まえての開催とした。今後の

支援についても社団を通しての情報の流れなどルール作りが必要であると感じている。

◇YCE 委員会

田中理事より報告。4回の委員会を行い、昨年は派遣のマニュアルを作成したが、受け入れ家庭用マニュアルを作成したく動いている。

事業の報告として、YCEは冬春夏の3回あるが、冬季は特段大きな問題なく終了していると報告を聞いている。春季は今の所は順調に進んでいる。夏季についてYCEは8・9月中に派遣やキャンプがあり、そこまでは今期の委員会が担当することが多く、YCEの活動について現議長・ガバナーのご協力のご理解をお願いしたい。

◇会則委員会

中谷専務理事より報告。ライオンズ必携の改訂作業をしているため遅れてはいるが今年度中には発行したいと考えて進めている最中。

役員必携については4月に年次大会が終わって新しい役員が就任されるまでには発行できるように印刷会社とやり取りをしている。役員必携は9,200部の印刷で単価650円を予定中。

◇国際理事会報告

・山田元国際会長 (LCIF 理事)

国際協会の最優先事項であるミッション 1.5 の現状と、執行部で検討されているキャンペーン成功のための提案について報告され、参加されたガバナーにもMD334での事例を上げて報告と提案が行われた。ライオンズの本来の目的は We Serve であり、入会された方がライオンズへ入ってよかった、ライオンズのバッヂを付けていることが誇らしいと思っただけのような価値のある奉仕を行っていかなければならない。日本がライオンズ最大国となるくらいの大きな夢をもって取り組んでいっていただきたい。

・濱野国際理事 (奉仕事業委員会副委員長)

国際大会の投票は今回のオーランドから2日間だけになるのでご注意をいただきたい。第三副会長については数名の候補者がいるが、国際理事会としてはオーストラリアより立候補しているトニー・ベンボウ元国際理事を推薦しており投票をお願いしている。続いて国際理事会報告として国際理事の定数はそのまま会則地域ごとの配分が変わる件、プロトコール追加の件について、昨年度に続き元地区ガバナー研修開催について報告。

ライオン誌について、WEB版発行時にライオンポータルに登録している方へ発行された旨のメールが送られるようになった。ライオン誌を見ていただければ色々なものが伝わるかと思う。

国際協会の用意しているアワードと日本からの受賞クラブの紹介と、奉仕事業委員会の取り組みとして来期から奉仕週間というのを用意して3週間、1週ずつ分けて人道支援、環境保全、心と健康のケアの奉仕週間を設けることの報告。国際協会がテクノロジー強化に現在取り組んでいる観点よりオンライン研修やAIの活用についての呼びかけがあった。

◇GAT エリアリーダー報告

・鈴木誓男 GAT 統括エリアリーダー

皆さんの任期も残り3カ月とはなったが、残りの期間も全力でミッション 1.5 について取り組んでいただきたい。会員増強へ取り組むことで世界中の人々が奉仕を受けることができ、救われることになる。

・松岡勲 GAT 西日本エリアリーダー

6月1日ー3日にミッション 1.5 サミットを開催する。

各複合地区の GET、GMT の次年度のコーディネーター、準地区の GET、GMT のコーディネーターにご参加をお願いします。次年度においてすぐにスタートが切れるよう、次年度 GAT 役職者の人選と推薦について協力の呼びかけが行われた。

・小川晶子 GAT 東日本エリアリーダー

地区の進捗、評価を行う件が国際会長のメールで呼びかけがあったかと思う。

地区ごとのクラブ・支部設置の状況について報告があり、一部のガバナーについては目標設定などの変更を含め残って今後の報告をいただきたいと呼びかけ。

◇公益財団法人日本ライオンズ活動報告

小野寺理事長より資料を元に報告。

特別支援高校を対象とした第4回全国フットサル大会を今年11月1日東京で行う。150校の参加を目標としており、室伏スポーツ庁長官にもお越しいただきたいと考えている。事業としての知名度がかなり上がってきていると実感している。

皆さんの地元で行われる地区大会には時間を作っていただき是非見に行っていただきたい。児童養護施設の子供たちの学力向上を目的とした寺子屋事業は現在 35 の施設で行われている。協力をいただく NPO 法人が西の地域が少なく課題であるが、家庭教師を面談の上、パートナーとして施設に派遣を行っている。

施設の子供たちには小学校高学年で算数ができない、ひらがなが書けない子どもたちもいる。財団の事業を通じて将来が拓けた子供たちもいる。皆様には何卒ご協力をお願いしたい。

◇その他

・OSEAL レオフォーラム

廣田常務理事より報告。第6回となる OSEAL レオフォーラムを 2025 年 11 月 7-9 日に MD335 が主管として行うため検討を重ねてきた。

レオの目的と意義を果たし、明日のライオンを育成したい。予算の不足分についてはライオンズメンバーに限らない協賛、LCIF の交付金を活用し各地区への協力金をお願いしない予定である。

去年は香港で開催されたが、その規模感はレオの参加登録者が香港で 60 名、香港以外から 50 名で 110 名。ライオン 50 名で 160 名位。規模感は OSEAL フォーラムの 1/100 程と予想される。皆様にご協力をお願いしたい。

・SON 感謝状が日本ライオンズへ授与された報告が中谷専務理事より行われた。

・監事講評

石橋監事より講評。

本日の議案であった賛助会費値上げは今後のことを考えてのことではありますが、各ガバナーにおいては地区への説明の材料が足りないとの話もあったので、詳細な資料は松浦理事長がしっかりしたものを用意するかと思います。ご協力に感謝いたします。

◇開会宣言

理事長 松浦 淳一

以上

議事録作成人：

常務理事

渡邊 俊弥

常務理事

佐藤 裕幸

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ理事長

松浦 淳一【押印省略】

330-A 地区ガバナー

森 亮介【押印省略】

332-A 地区ガバナー

吉澤 俊寿【押印省略】

2024-2025年度

一般社団法人日本ライオンズ「第9回理事会」議事録

開催日時：2025年4月15日（火）14：00-16：30

場 所：ホテルモントレ姫路 14階 シエル

出席者リスト

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)	
副理事長	喜多 友一	(上田城南)	
副理事長	澤 辰水	(下関)	
専務理事	中谷 豊重	(岸和田)	
常務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)	
常務理事	諏訪 昇三	(札幌時計台)	
常務理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)	
常務理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)	
常務理事	廣田 晃一	(姫路中央)	
常務理事	藤井 信英	(岡山みらい)	
常務理事	濱田 浩平	(長崎南)	
理事	田中 雄一	(狭山)	【WEB】
理事	栗村 安弘	(大船渡)	【欠席】
理事	星野 勝美	(太田)	【欠席】
理事	戸祭 宏樹	(鯖江王山)	
理事	新里 正雄	(沖縄)	【欠席】
理事 ('23-25国際理事)	城阪 勝喜	(大阪港)	
理事 ('23-25国際理事)	濱野 雅司	(岩槻)	
理事 ('24-25 LCIF理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島)	
理事 (前理事長)	田名部 智之	(八戸)	
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)	
監事 (MD332元議長)	下間 俊悦	(男鹿)	【欠席】
監事 (MD333元議長)	石橋 貞	(足利西)	
監事 (MD335元議長)	小林 聰	(姫路広陵)	
監事 (MD337元議長)	乗田 泰	(伊万里)	【欠席】

オブザーバー

'25-27 国際理事候補者	仁科 良三	(長野みすず)	
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖)	
法律顧問	池田 和司	(東京桜門)	【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野)	【WEB】
理事長事務局補佐	南部谷 靖	(岩見沢はまなす)	
理事長事務局補佐	成田 祐樹	(岩見沢はまなす)	

◇開会宣言

松浦理事長より挨拶

続いて城坂国際理事、濱野国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、田名部前理事長、小野寺財団理事長、仁科国際理事候補より挨拶。

◇出席者確認

資料の通り。

◇議事録作成人の指名

伊賀常務理事・諏訪常務理事が指名される。

1. 協議および確認事項

①会費値上げの件

松浦理事長より説明。

考え方を統一して聞いていただきたい。

(1) 各MDからの報告と説明用資料について

現在の残高についての考え方。上半期の決算では3億6,000万の計上があるが、財団の財源が5,000万、ライオン誌との協議による積立金残高が2億1,273万、事務所移転の補償費が2,939万、で合計2億9,212万。

事務所移転や組織解体など万が一のときのための対応のための積立として一定額の基金、2年分の年収を確保すべきだということで、1年の年収が1億3,000万であることから2億6,000万。これは多いか少ないかはそれぞれの感覚であろうかと思うが、現状日本ライオンズでは多すぎる金額ではないという判断をさせていただいている。

ただ解散した場合に8複合に戻るお金であるため、どこにお金があるかの違いであるだけであり、この金額が多い、少ない、というのは今後議論していただいて、今年度に関しては2億9,212万を以って運営をしていくべきだという結論の中で次年度以降40円、再来年度40円、計80円の値上げを皆さんと共に推進をしていくべく総会で承認を受けたことをご理解していただきたいと考えている。

(2) 予算案の概略

収入の部

・受取賛助会費

2025-26年度は40円の値上げで103,680,000円、2026-2027年度はもう40円の値上げで138,240,000円の収入の見込み。

・国際協会の補助金

1ドル150円で計算しているが6月末の時点のレートがポイントとなる。

たとえば円高で1ドル140円になっていれば10円マイナスとなる。

・ライオン誌送料収入

次年度から全て社団で送料負担とするため、送料収入も0となる。

・雑収入

職員の中退共掛金助成金の分が120,000円出ているため、2025-26年度は320,000円となっているがその次の年度は助成金がないため通常の200,000円となっている

・各種会議旅費分担金収入

プール金計算を廃止し、委員会参加にかかる各複合地区委員の旅費については全て社団の負担とするため0とした。

支出の部

・ライオン誌送料

変革はしていくが現状通り個人またはクラブへ発送するか選択をしていただいた中で、将来的にはクラブへ送付する方向で進めていきたい。

当座の間は現状の中で変革を求めていくことになるため15,840,000円からそれぞれ送料値上げ分を社団負担とした。併せて送料事務費も従来通り社団負担としている。

・デジタル関連費

ライオン誌委員会・編集員の皆さんのご努力により、内製化により原稿料・編集費を5,230,000円→2,500,000円とした。

現在は成り立っているが毎年の組織の在り方なので、将来的、今後の状況は不確定ではあるが今の努力を続けていただきながら続けていきたい。

・事務費：総会・理事会会議費

3年間理事の皆さんには交通費を出していなかったが、再来期から900万を予算計上してはいるが、交通費を支給する・しないについては是非ご議論をいただきたい。

・事務費：会場費

委員会の開催は東京開催が基本であるが、地方開催の可能性もあるためその際はこの予算の中から捻出をしていただきたい。

・事務費：国際大会・アジアフォーラム関連費

国際理事候補者の皆さんにもご負担をいただきながら国際大会、OSEALフォーラムの関連費を捻出していただいていたが、出来るだけ社団で負担をし、3,000,000円を7,000,000、8,000,000円と増額させていただいた。

・事務費：海外大会ロジスティックス及び備品費

国際大会において現地にツアーデスクを設置するとだいたい2,000,000円ほどかかる。参加者の負担ではなく日本から参加するメンバーのためにも社団で設置をするのが筋であるため計上とした。

・事務費：国際協会関連対応費

国際会長公式訪問の際には各複合から50万ずつ集めさせていただいて運営していたが日本ライオンズが全て負担した上で社団として国際会長をお迎えすることをしていかなければ社団の存在意義もないと言える。そのため6,000,000円の計上とした。

色々な変革点があるが、各複合、クラブからご負担いただいていたものを社団で負担し、値上げのリスクも社団で持ってライオンズ会員の皆様に安心をしていただきながら社団と各複合、各クラブの繋ぎを深くしていきたい。

以上の観点から2年をかけて計80円の値上げを行うことをご理解いただきながら、統一見解として皆様にご説明をいただくとありがたいので、よろしく申し上げたい。

(3) 各MDのその後の状況

・MD330 伊賀常務理事

5月25日に複合年次大会開催。6年ぶりに分科会を開催し経理分科会で報告予定。来期

は複合の値上げ分 100 円に含む。その後は改めて議論。

・ MD331 諏訪常務理事

先日のガバナー協議会で各ガバナーに説明し基本的に理解を得た。

331-A はキャビネット会議で理解済み。

・ MD332 渡邊常務理事

値上げについて社員総会決定事項には従うが、文章化しても理解が十分でないため説明を継続。剰余金は運営費ではなく女性会員拡大・レオ拡大等に活用検討が必要。

・ MD333 佐藤常務理事

第 3 回ガバナー協議会で承認。時間不足のため準地区で報告・協議。まず 40 円を複合負担、次に 80 円を一気に値上げと結論。

・ MD334 喜多副理事長

ガバナー協議会では問題なく報告という事で進んでいたが 1 名の名誉顧問から「賛助会費をなぜ社員総会で決めるのか」との指摘があった。

なんのために社員総会があるのか、ガバナーが準地区の代表として来ている、それが 1 票だと反論した。ガバナー協議会ではそのまま行きますとなったが、複合の年次大会で揉めるかと思うが強行して通す予定。

・ MD335 廣田常務理事

A 地区（神戸）、C 地区（京都・滋賀・奈良）が反対。C 地区は前回の総会前日に賛成に回ったが、ガバナー自身も賛同は不十分かと思うので今までいただいた資料を提出の上話をしている。4 人のガバナーの再度話をするとしたのが今の所まだ出来ていない。ただ 4 人とも社団の決定にはもちろん従うと言っていた。

B 地区 D 地区は賛成している。335-D 地区の今市ガバナーがガバナー協議会の際に、私に何のメリットもないんです。1 副、2 副そしてみなさんが活動しやすくするための資金なんです。だからみなさんご同意ください。と話し 335-D は一発で全員賛成になった。私自身も含め覚悟が必要なのかと思った。近々ガバナーと話をしてしっかりまとめて行きたい。今後第 4 回ガバナー協議会、代議員総会があるので、5 月 31 日までしっかりまとめていきたい。報告事項とするのか決議事項にするのか全複合で統一できないのか、統一できないならどうされるのか意見を伺いたい。

・ MD336 藤井常務理事

ABC 準地区の年次大会が終了。A 地区と C 地区の年次大会では基本的に複合の会費についてはなく、社団からの申し送り事項が出てきたものがある場合は社団からの報告という事で取り上げることはあった。B 地区では値上げがありますという事を報告であげて通った。5 月 18 日に複合の年次大会があるが分科会の中でも値上げについて、採択なしの報告だけであげて行きたいと思っている。先ほど情報が入ってきて 336-C でライオン誌の事で大騒ぎをしていた方がまた同じように物申すと情報が入って来ている。これについては下打ち合わせを皆さんとしてその場に臨まなければならないという懸念がある。D 地区は社員総会の際に反対で手を挙げていたが澤副理事長が社団で決まった事だと収めていただいたので報告で終える予定。複合地区としては報告で終わらせる予定。

・ MD337 濱田常務理事

ガバナー協議会で全員納得いただいた。複合の年次大会の時に分科会で報告事項として説明することになっている。報告事項ではあるが色々な意見も出るのだからわかりやすい説明が必要であるので、社団資料と新たに作成した資料を用いて説明予定。

作成した資料の内容を理事会構成員へ説明し、委員長へ提出し説明。議長・ガバナーに分

科会参加依頼あり。昨年も MD337 ではライオン誌の事で動議が出て収めたが、今回も動議が出る懸念があるので万全を以って進んでいきたい。

・鶴嶋 LCIF 理事

ライオン誌発行回数を最低何回にするかを決定することが必要。我々が議長として理事であったときは春夏秋冬で4回の発行を死守するとしていた。

2億1,000万円の中から、一回の発行でどのくらい費用がかかるかは増澤事務長が把握しているかと思うのでその費用を当て込みあと何年で使い切ってしまうのかというのも出しておくべき。それと同時に国際協会の補助が前回、4ドルから2ドルになった時も突然決まった。もしかしたら2ドルが来年から0になる可能性もある。いつ0になっても残っているお金がこれだけだと議長の皆さんで申し合わせておいて書類にしておいて、年4回なら4回出す。それにかかる費用はこれくらいだということを言っておけばおのずとこれが必要な金額であるとなる。

それと毎年の会員の減少の説明も付記する。ライオンズクエストは単地区で現在全額150万交付だが、今後は半額75万の自己負担が必要というのを付け加えておいていただきたい。

・増澤事務長

賛助会費は社員総会での決定事項ゆえ議題に載せる必要はないかと思うが、MDの複合会費について議案が上がってくるので、その中に入れておき支出増として説明すれば良いのではないか。社団の会費が上がりました。という決議は必要ないかと思うが、複合で皆さんからお集めする会費がこのような明細で上がっていきますと載せておけば良いのではないか。社団の事を複合で協議する事は出来ないなので、そういう形で理解していただきたい。

・濱田常務理事

どこかの地区で社団を脱退するという声があったそうだが、そのような話が出てこないか、一部の話ではあるようだがそこが気になる。懇切丁寧に納得していただくようにするしかないかとは思っている。

・増澤事務長

MD337だけは複合への請求で社団の会費と載っていないが、それ以外の複合では一般社団法人日本ライオンズ賛助会費という名目で載っている。

・渡邊常務理事

MD332で社団を脱退というような極端な話も出ている。賛助会費値上げと脱退は根本的に別の話であり、値上げは決まった事なので、皆さんに説明をし、社団の方からアピールして納得できない点を聞き取り回答しつつ進める。

②次期理事会構成案について

中谷専務理事：次期議長予定者は資料のとおり。

松浦理事長：次期理事長予定者は現議長から推薦していただきたい。

廣田常務理事：8人の常務理事協議の結果、MD334現副理事長喜多副理事長を推薦。

松浦理事長：5月8日に現・新議長で委員長等を決定し5月21日の現新理事会で正式決定。

喜多副理事長：内定者として前任者同様に改革を進める。専務理事・副理事長を指名予定。

③札幌フォーラムステアリング委員会 (5/23-25) 参加者の選任

MD330・332・333 は年次大会と重複のため除外。

増澤事務長：規約では4名。

鶴嶋 LCIF 理事：最少2名・最大4名。全員出席の場合は MD331 次期議長予定者である設楽 L を含め5名になる可能性。

④国際大会委員会よりオーランド大会関係についての提案

国際大会委員長・戸祭理事より

・ツアーデスク設置についての提案

これまで公認旅行会社経由ホテル利用者から1人1万円徴収しツアーデスクを設置していたがツアー未用者もデスクを活用できるよう日本ライオンズで費用を負担する件を委員会より提案する。来年の理事会議題にしていただきたい。

・オーランド大会 ホテル利用状況

4月24日の国際大会委員会でホテル宿泊人数回答が不十分のため議長からもホテル利用数の手助けをしていただきたい。

・パレード頒布品

パレード公式ユニフォームの帽子注文数が少ない。帽子もパレード時のユニフォームに含まれるためパレード参加予定者で未発注の方は早急をお願いする。

・25-26年度国際会長公式訪問について

10月26日、オセアルフォーラム閉会式後(15時頃) AP シン国際会長公式訪問が決まった。400名程度の参加の依頼となり、各 MD 50名程度参加要請するので26日に帰らず、27日以降以降に帰る日程での飛行機の手配をお願いしたい。

松浦理事長

戸祭委員長がオーランド大会日本ホテル予約数の件で大変困っている。

また現地の空港へ日本として迎えるバスを手配するなど、日本全体で対応することになるので、公認TCへははっきりとした参加予定者数を伝えることでより良いサービスが出来、安心して参加することが出来るかと思う。

⑤10/26開催 AP シン国際会長公式訪問開催の件

鶴嶋 LCIF 理事より

前年に合わせての参加予定数となっている。公式訪問のあとに歓迎晩餐会があるため、参加される方は26日も北海道へ宿泊いただくことになるかと思われる。

濱野国際理事

AP シン会長は公式訪問の後、31日くらいまで滞在される予定。

オセアル調整事務局で日本として動きやすいよう色々考えていると思うが当該地区になったところではご協力をお願いします。

⑥コンプライアンス関係

増澤事務長

事務局の秘密保持と事務局員に対してのハラスメント防止のための規程について法律顧問と相談したところ文章が長すぎるということで、もう少し文章を考える。

⑦総務人事関係

5月8日11時、総務人事委員会を開催したい。賞与の支給があるのでその評価、7月から昇給による給与の改定があるため。

→日程については要調整となった。

2. 報告事項

①3/16-3/19 オークブルック国際理事会報告

…国際理事各位

城阪国際理事

国際協会としては1、2、3にも経費削減。よろしくお願ひします。

・日本ライオンズ予算案への提案

ライオンズクラブは奉仕団体であるため、南海トラフ地震などを想定し、社団として基金を貯めていくという考え方があっても良いと思う。移転補償の3,000万円などを別途基金とし、緊急資金をすぐに拠出できる体制を整えるべきではないか。次年度になるかとは思いますが、喜多次期理事長予定者にご尽力、ご検討いただきたい。これは奉仕というライオンズの本旨にあたるのではないか。値上げについてもこういうことにも目を向けている、という姿勢が非常に大事な所になる。皆さんに経費節減をしていただいて、その余剰分の1/3はこのような基金にいきます、という考え方も良いのではないか。

濱野常務理事

・オーランドの国際大会での投票議案について

国際理事を輩出する会則地域の編成配分が変更される。アメリカの会則地域1が3人減り、その分会則地域4の南アメリカがプラス1、会則地域6のインドを中心とした地域がプラス2となる。

・各委員会の決議事項について

奉仕事業委員会では奉仕週間という奉仕事業に対する取組を各クラブ、地区でやっていただきたいというのがある。10月は心と健康のケア、1月は食糧支援、4月は環境保全についての奉仕事業をやっていただきたい。1週間ごとの世界全体で取り組む事業が決まっているので次期ガバナー予定者の方には通知が行くかと思う。

・地区ガバナーの空席補充について

ガバナーが空席の場合は元地区ガバナーが立候補できるが、1回のみとなっている。

・第一副地区ガバナーの研修について

毎年2月に行われていたシカゴ・Qセンターでの研修は廃止となりWEB開催となる予定。なお日本の場合は一言語のため、どこかで集まって対面で行う可能性もある。それに伴い香港大会からの国際大会でのエレクトセミナーは2日になりエレクトが現在より一日早く大会開催地へ入ることになるという案も検討されており、オーランドで正式に決定する。

・リーダーシップ研修について

リーダーシッププロの方はFDIの研修が来期で終了。各複合地区から人数に合わせて希望者が出るかと思うが、来期で最後なので興味がある人は参加してほしい。今後はLSHIPのみとなる。

・マーケティング関係アワードについて

ライオンズインターナショナル・マーケティングアワードが創設され、全世界のクラブのマーケティング活動に対してのアワード。各会則地域から1クラブずつ受賞されるが、日本

からは 1 クラブしか申請していなかったため残念ながら日本のクラブは受賞できなかった。来期以降はこのアワードがある事を皆さんに知っておいていただいて、各ガバナー、クラブに宣伝をしていただいて、こういう媒体で宣伝した、こういう取り組みをしてライオンズの名を知らしめたなどあれば是非国際協会へ申請していただきたい。

・AI 活用について

ライオン AI が国際協会のホームページに出ているかと思うので、そこをクリックすると英文のページではあるが日本語で質問でき、資料の掲載されている箇所など回答をして貰える。ベータ版で試行錯誤している段階だが初心者でもわかりやすく使えるようになっているので活用いただきたい。

最後に一つだけ理事会でお伝えしたいことがある。皆さんは一般社団法人の理事として大変重い立場であるので、言葉の言い回しに大変気を付けなければならない。「社団で決まった」と言うのではなく、「社団で決めた」という表現。なぜなら皆さんが主体となって決めている事なので、自分もその決定に対して説明をする責任があるという心構えで複合の年次大会に向かっていただきたい。同じように正社員である地区ガバナーも総会に出て決めたことなので、としないとメンバーを説得できない。その責任のもとに各複合地区、準地区に説明いただきたい。

伊賀常務理事

マーケティングアワードの申請はクラブ単位かキャビネットか？

→クラブ単位である。

②アラート委員会関係報告

・3/14 開催 アラートフォーラム（茨城）開催報告 …藤井常務理事

アラートフォーラムの午前中に各 MD のアラート委員長・班長を対象とした勉強会を実施し、交流会も行った。フォーラムには 486 名の参加、272 名の交流会参加 3,318,109 円の収入となり、支出は 2,274,169 で余剰金 1,043,940 円となった。多くの方に参加いただき、実りあるフォーラムとなった。

・4/8 開催 第 7 回アラート委員会開催報告

まだ議事録が上がってきていないが、2026 年度アラートフォーラム開催地は委員会の中では MD335 に決定した。

色々災害の対応について今期問題があったため、迅速な支援を目的とし、委員会構成をもう少しスマートにした方が良くはないかとの意見があった。

各 MD のアラート委員長が社団の中ではアラート委員として構成員となり、全日本の統括リーダー、東西のエリアリーダー、委員の下に班長として各 MD に 1 名、副班長として各準地区から 1 名で構成されている。副班長は各準地区にアラート委員会があるので、社団の中にはいらぬのではないかという話し合いがなされた。来期については喜多理事長予定者とどう進めるか協議しながら進めていきたい。

喜多副理事長

330 複合地区内の地区関係者が 4 月 29 日に能登に誰の許可もなく入ろうとしているとの話を耳にしたため、伊賀常務理事に調べていただきたい。334-D 地区ガバナーもキャビネットも知らないとの事。行くのであればだれの許可を得て行くのか調べていただかないとアラ

ートへの理解が得られにくい。

廣田常務理事よりエリアリーダーをはじめとするアラート委員会構成について質問。

藤井常務理事

エリアリーダーについてはアラート委員会で推薦し、社団の理事長が任命する。社団としては委員長・副委員長・各 MD の委員長でアラート委員会を構成し、別途アラートチームがある。アラートチームは、複合や準地区に 7 年前までアラート委員会がなかったため設置されたもので、アラート委員会の下部組織である。

松浦理事長

もう少し時間をかけて成熟した姿を目指したい。災害規模に応じたアラート委員会の対応も整いつつあるため、もう少し時間をいただいて、次年度以降もさらなる整備をしていただけるとありがたい。

③3/21 開催 第 5 回会則委員会 報告

…中谷専務理事

役員必携は現在作業中で動いている所。各複合年次大会の共通提案事項を確認したが、今回は共通の提案事項はなしということを確認しているところ。コンプライアンス委員会についてはパイロット事業として各MDへ依頼しこの 1 年やって来た。次回かその次の委員会で今後どうするか決定予定。

④4/2 開催 第 9 回国際大会委員会報告

・第 107 回オーランド大会最新情報

…戸祭理事

報告済のため省略。

・第 62 回 OSEAL フォーラムについて

…諏訪常務理事

開催 190 日前を切り、鶴嶋実行委員長、松浦副実行委員長、設楽副実行委員長と精力的に取り組んでいる所。かなりの頻度で委員会を開催している。支援金・登録について各 MD の協力に感謝。支援金は 330-B を除き完了しており 330-B も現ガバナーから年次大会終了後に支出するとお答えいただいている。MD331 については開催地のため支援金の金額が大きいため 3 回に分けている。そのほかは予定通りに進んでおり本当にありがとうございます。

早期登録結果（4/7 現在）は以下の通り。

	MD330	MD331	MD332	MD333	MD334	MD335	MD336	MD337	計
目標	800	3,000	900	1,200	1,300	1,000	1,050	1,050	10,200
登録	170	1,616	225	253	546	394	121	147	3,478

早期登録と大きく金額が変わらないのでこれからそれぞれの複合地区、準地区で登録が進んでくるとは思う。

フォーラムを成功のうちに終わらせるために、登録数の確保が必要であるため、議長の皆さんにも登録数の目標もあるので是非ご協力をいただきたい。

戸祭理事

委員会としてオーランド国際大会参加推進についての業務を終わらせた上で、今期中に5,000名登録を目標としたい。

地区ごとに目標などあるかと思うが御協力をお願いする。

⑤4/14開催 第5回YCE委員会開催報告

…田中理事

昨日、第5回YCE委員会を開催。春の派遣ではMD330主導の交換があり、問題なく子どもたちが楽しんだ。夏の派遣、受入は各複合委員長の尽力で今の所順調にしている。前回の第4回のYCE委員会で、OSEALフォーラム札幌開催時にYCEの活動ができないかと案が出たため議論したが、時間不足と次期に跨いでしまうため今回は中止とした。ただし今後YCEとして長い目で見ても何らかの他地区、他の国と交流を深める場を設けていければ良いという話で終わった。YCE実務の社団一本化が出来ないかについて、これも次の委員会ないし来期に引き継ぐ方向で持って行けるように今の所進んでいる。

⑥その他報告

・ダイナースカードについて

…増澤事務長

社団が責任を負う覚書を交わさず、社団は関わらずキャビネット・各クラブ会長が直接契約する方式に変更。詳細はダイナース担当者へ問い合わせの上、有効活用してほしい。

監事講評

石橋監事

本日の理事会は会費の議論が半分を占めた。値上げは10円単位といえども会費問題は難しい。会員減少の中で会員の獲得と会費の問題が出ている。また支部と会員ではどこが違うのか会費が違うだけかという話も出てきており、一般の会員から支部に移ってしまうという話も出ています。

小林監事

会費値上げは十分理解できていなかったが、濱田常務理事の資料は理解しやすかった。アラートチームには熱心な人や資質のある方もいる。初代アラート委員長として、アラート委員会に期待します。

3. 今後の予定について

- ・5/8(木) 現・次期予定者打ち合わせ会議 日本ライオンズ事務所
- ・5/15(木) 第9回執行理事会 WEB
- ・5/21(水) 現・次期理事会(東京)
- ・5/23(金)-25(日) 第62回OSEALフォーラムステアリング委員会(札幌)

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

以上

2025年4月15日

議事録作成人：

常務理事	伊賀 保夫
常務理事	諏訪 昇三

議事録署名人：

理事長	松浦 淳一 【押印省略】
監事/MD333元議長	石橋 貞 【押印省略】
監事/MD335元議長	小林 聰 【押印省略】

差出人: Honma, Junko <Junko.Honma@lionsclubs.org>
送信日時: 2025年5月23日金曜日 11:10
宛先: mase1225srfive@icloud.com; taiyo-kosho16461@ia4.itkeeper.ne.jp; asset-ak@helen.ocn.ne.jp; matsuoaka-isao@e-matsuoka.com; isihara.co@h5.dion.ne.jp; taka@oikawa-soku.co.jp; m.endo2276800@gmail.com; hashi3@tune.ocn.ne.jp; honsya@minamikyushukinzoku.com; 株式会社櫻井興業 行責; masutatu@rainbow.plala.or.jp; nakajima.m@k-k-on.co.jp; hh@frontier-coltd.co.jp; takaoka@yasaka-ehime.jp; futaba@futaba-eng.net; koujin@urbanlife-group.com; motoidenkou.m@eos.ocn.ne.jp; hiromi.sano@sanoya-ymgt.com; great@youngguns.jp; mickey991213@gmail.com; okapipi405@gmail.com; kyks1974@yahoo.co.jp; miguchi@sankoukikaku.co.jp; rtf89086@nifty.com; lc.kawashima@isshin.gr.jp; shunjienomoto@ybb.ne.jp; makoto-5041@future.ocn.ne.jp; vegetab21nao@gmail.com; apple379@f4.dion.ne.jp; harita@yamatokensetsu.jp; 福井中央LC; 野木良彦; 金礪 毅
CC: L.原口秀樹; Koji Tsurushima; 鈴木誓男LCIF元理事; (株)アスカ運輸 千葉様; 渡辺 奈々; 石津様川島正行事務局; フタバ設計 鳴尾; Merz, Yoshiko; Tsukada, Kanako; Fujii, Yukiko; Honma, Junko
件名: 事前案内及び準備のお願い: 5/26-27LCIFリーダーズ会議および5/27-28研修会
添付ファイル: 議事次第 5月26-27日 (FY24-25第6回引継会議).pdf; ソウル家への経路.pdf; 出席者名簿 5月27-28日 DGE及び来期地区LCIFコーディネーター研修.pdf
重要度: 高

5/26-27 懇親会・会議及び5/27-28 研修会にご出席のリーダーズ各位

お世話になっております。

標題についてご連絡申し上げます。尚、全日程に出席されないリーダーにも共通の内容でメール差し上げております。ご了承ください。

① 5/26-27 リーダーズ懇親会及び今期最終・引継会議 (会場: ウィンクあいち 9階 901 会議室)

添付の議事次第をご確認ください。懇親会は5/26 午後6時から「ソウル家」でお一人様6千円を頂戴して開催いたします。おつりのないようご協力いただけますと幸いです。

② 5/27-28 DGE/地区コーディネーター研修 (会場: ウィンクあいち)

1日目 5月27日午後1時30分～5時 (受付午後1時～) 会議室: 901 (9階)

2日目 5月28日午前9時30分～午後3時 会議室: 1103 (11階)

< 1日目終了後の懇親会について >

1日目研修後の懇親会は、MD コーディネーターを中心に複合地区単位で開催し、来期の仲間の結束を高めていただく機会としていただくこととなりました。

MD コーディネーター（MD331、MD335 は MDC ご欠席のため副 MDC）に準備を始めていただくようお願いしましたので、コーディネーターと連携して皆様にも準備にご協力いただきますようお願いいたします。出席者については、添付の名簿をご確認ください。

<研修の目的及び概要、リーダーズの役割>

目的：来期の LCIF 目標と行動計画の最終確認を行い、LCIF のファンドレイジング活動を推進する手法やコミュニケーションについて理解を深め、準備することを目的とした研修です。

概要：本研修は、全体セッションとグループワークあるいはディスカッションで構成されます。全体セッションではプレゼンを通じて、来期目標とその達成に向けて重要なリーダーシップ、LCIF のファンドレイジングに関する知識と情報を再確認し、グループワーク及びディスカッションを通じて、地区が直面する個別の課題、または共通の問題について解決や取り組み方を学びながら、来期の準備をさらに進めます。

リーダーズの役割：主にグループディスカッションで参加 DGE/来期コーディネーターの来期目標とその達成のための行動計画に成功のためのヒントとアドバイスを提供いただきます。尚、ディスカッションは 2MD 毎に小会議室に分かれて行います。それぞれのグループでディスカッションをリードするファシリテーターを下記のリーダーをお願いしております。

330/333 櫻井 L

331/332 及川 L

334/335 山田 L

336/337 二場 L

事前の準備：DGE の皆さんには、下記の書類を印刷して研修会に持参いただくようにご案内し、事前に来期地区コーディネーターとも情報共有して、来期目標と計画、地区の課題について共通の理解を持って参加いただくようお願いしております。

- LCIF に関する地区目標及び行動計画
- 来期 LCIF 委員会名簿及び地区組織図

尚、地区目標と行動計画は公開資料となっています。ディスカッションの時間を効率よく使っていただくために、下記リンクから担当地区の資料を事前にご確認くださいよう、お願いいたします。

<http://www8.lionsclubs.org/reports/DistrictGoals/2025-2026/CA%205/>

よろしくお願いたします。

オセアル調整事務局 本間

JUNKO HONMA, LCIF Development Manager - Japan
Lions International
OSEAL Coordinating Office in Tokyo
+81.50.1791.5823

LCIF 研修会 会場

5/27 1 日目

全体会	901
MD330・333	1105
MD331・332	1004
MD334・335	1009
MD336・337	1106

5/28 2 日目

全体会	1103
MD330・333	1206
MD331・332	1205
MD334・335	1105
MD336・337	1110

LCIF日本 2024-2025年度第6回会議 2025年5月26-28日 出欠表

役職	氏名	5/26 懇親会	5/27 会議	5/27-28 研修会
元国際会長・LCIF理事	L. 山田 實紘		ビデオメッセージ	
元国際理事・LCIF理事	L. 鶴嶋 浩二	1	1	1
LCIF開発 会則地域リーダー (日本)	L. 鈴木 誓男	1	1	1
会則地域リーダー補佐 (データ担当)	L. 丸山 正芳	1	1	1
会則地域リーダー補佐 (講義研修担当)	L. 夏 有民	1	1	1
エリアリーダー 東日本	L. 阿久津 隆文	1	1	1
エリアリーダー 西日本	L. 松岡 勲	1	1	1
副エリアリーダー MD330・333	L. 石原 英司	1	1	1
副エリアリーダー MD331・332	L. 及川 隆人	1	1	1
副エリアリーダー MD334・335	L. 遠藤 紀夫	1	1	1
副エリアリーダー MD336・337	L. 橋本 充好	1	1	1
副エリアリーダー MD336・337	L. 吉村 千鶴子	0	1	1
MDコーディネーター MD330	L. 櫻井 貴裕	1	1	1
LCIF日本事務局				
MDコーディネーター MD331 (2024-2025年度)	L. 美田 法賢	0	0	0
MDコーディネーター MD331 (2025-2026年度)	L. 本所 光男	0	0	0
MDコーディネーター MD332	L. 村上 孝	1	1	1
MDコーディネーター MD333	L. 中嶋 正昭	1	1	1
MDコーディネーター MD334	L. 原口 秀樹	1	1	1
MDコーディネーター MD335	L. 高井 利夫	0	0	0
MDコーディネーター MD336	L. 高岡 英治	1	1	1
MDコーディネーター MD337	L. 二場 安之	0	1	1
MD副コーディネーター MD330	L. 三浦 宏仁	1	1	1
MD副コーディネーター MD331	L. 蠣崎 基	1	1	1
MD副コーディネーター MD332	L. 佐野 宏美	0	1	1
MD副コーディネーター MD333	L. 倉留 ラジエシュ	1	1	1
MD副コーディネーター MD334	L. 山田 実貴人	0	1	1
MD副コーディネーター MD335	L. 岡田 隆彦	1	1	1
MD副コーディネーター MD335	L. 眞田 健二	0	1	1
MD副コーディネーター MD336 (2024-2025年度)	L. 三口 巖	1	1	1
MD副コーディネーター MD336 (2025-2026年度)	L. 金磯 毅	1	1	1
MD副コーディネーター MD337	L. 下園 雄治	0	1	1
LCIFアンバサダー	L. 川島 正行	0	1	1
LCIFアンバサダー	L. 榎本 舜治	1	1	1
LCIFアンバサダー	L. 大石 誠	1	1	1
LCIFアンバサダー	L. 北畑 英樹	1	1	1
LCIFアンバサダー	L. 矢野 進	0	0	0
LCIFアンバサダー	L. 林田 俊一	0	0	0
LCIFアンバサダー	L. 針田 一朗	0	1	1
LCIFアンバサダー	L. 北野 憲太郎	0	1	0
LCIFアンバサダー	L. 宇田川 直子	1	1	0
LCIFサポーター	L. 藤弥 一司	0	0	0
LCIFサポーター	L. 谷岡 憲行	0	0	0
LCIFサポーター	L. 野木 良彦	1	1	1
OSEAL調整事務局 局長	マーズ 佐子		ZOOM参加	
OSEAL調整事務局 LCIF日本開発課長	本間 純子	1	1	1
OSEAL調整事務局 LCIF寄付者サービス・スペシャリスト	塚田 加奈子	0	0	1
		27	36	35



LCIF 日本リーダーズ会議 (第6回引継会議)

2025年5月27日 9:30-11:30

ウインクあいち 9階 901会議室

議事次第

司会進行：松岡エリアリーダー

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. 開会の挨拶 | 鶴嶋理事 | 9:30-9:35 |
| 2. 挨拶 | 鈴木会則地域リーダー | 9:35-9:40 |
| 3. 今期総括 | 全出席リーダー | 9:40-10:40 |

今年度リーダーは今期の総括をお願いします。来期新メンバーにはご挨拶いただきます。一人1分半をお願いします。

- | | | |
|--------------------------|---|-------------|
| 4. 表彰 | | 10:40-10:50 |
| 5. DGE/コーディネーター研修の準備 | | 10:50-11:20 |
| | <ul style="list-style-type: none">● 研修の概要● リーダーズの役割● 資料について | |
| 6. 次回会議 (2025-2026年度第1回) | 2025年7月23日 (水) | |
| | (地区 LCIF コーディネーター研修の前日) | |
| 7. 閉会の挨拶 | 鶴嶋理事 | 11:20-11:25 |

机の並び替えの後、昼食休憩

(13:00 までにお戻りください)

昼休憩中に、研修会グループディスカッションでの役割分担と内容確認をお願いします。午後の DGE/コーディネーター研修は、受付を 13 時から始めます。

懇親会は会議前夜 5 月 26 日 (月) 午後 6 時～

会場：ソウル家名駅店 (名古屋駅からの経路は別紙をご確認ください)

参加者は会費お一人様 6,000 円をご用意ください。当日頂戴いたします。

<出席者>

	地区	氏名	役職	備考
MD330/333グループ	330-A	L. 上野 繁幸	地区ガバナーエレクト	
	330-A	L. 大久保 正弘	来期地区LCIFコーディネーター	
	330-B	L. 森川 吉孝	地区ガバナーエレクト	
	330-B	L. 平賀 新也	来期地区LCIFコーディネーター	
	330-C	L. 三浦 宏仁	地区ガバナーエレクト	MD330副コーディネーター兼務
	333-A	L. 林 隆行	地区ガバナーエレクト	
	333-C	L. 河井 哲弥	来期第一副地区ガバナー	代理出席
	333-D	L. 荻野 匡司	地区ガバナーエレクト	
	333-E	L. 若林 純也	地区ガバナーエレクト	
MD331/332グループ	331-A	L. 山崎 巖	地区ガバナーエレクト	
	331-A	L. 嶋崎 基	来期地区LCIFコーディネーター	MD331副コーディネーター兼務
	331-B	L. 大島 尚久	地区ガバナーエレクト	
	331-B	L. 坂本 斉	来期地区LCIFコーディネーター	
	331-B	L. 広瀬 寛人	来期地区LCIF副コーディネーター	オブザーバー参加
	331-C	L. 高橋 伸介	地区ガバナーエレクト	
	332-A	L. 藤田 鉄哉	地区ガバナーエレクト	
	332-B	L. 猿舘 伸威	来期地区LCIFコーディネーター	
	332-C	L. 斎藤 孝一	地区ガバナーエレクト	
	332-D	L. 酒井 富也	地区ガバナーエレクト	
	332-D	L. 丹野 秀進	来期地区LCIFコーディネーター	
	332-E	L. 横山 昭子	地区ガバナーエレクト	
	MD334/335グループ	334-A	L. 速水 清朗	地区ガバナーエレクト
334-A		L. 原口 秀樹	来期地区LCIFコーディネーター	MD334コーディネーター兼務
334-B		L. 加藤 謙一	地区ガバナーエレクト	
334-B		L. 國武 明史	来期地区LCIFコーディネーター	
334-C		L. 杉山 節雄	地区ガバナーエレクト	
334-C		L. 吉田 正義	来期地区LCIFコーディネーター	
334-D		L. 森川 直之	地区ガバナーエレクト	
334-D		L. 山岸 三十三	来期地区LCIFコーディネーター	
334-D		L. 宇野 晃造	来期地区LCIF委員長	オブザーバー参加
334-E		L. 飯田 重光	地区ガバナーエレクト	
335-A		L. 栗栖 正明	地区ガバナーエレクト	
335-A		L. 藤井 一弘	来期地区LCIFコーディネーター	
335-B		L. 笹部 美千代	地区ガバナーエレクト	
335-B		L. 本保 真司	来期地区LCIFコーディネーター	
335-C		L. 田端 俊三	地区ガバナーエレクト	
335-C		L. 麻田 弘史	来期地区LCIFコーディネーター	
335-D		L. 坂上 功治	来期地区LCIFコーディネーター	
MD336/337グループ	336-A	L. 向 和人	地区ガバナーエレクト	
	336-A	L. 高岡 英治	来期地区LCIFコーディネーター	MD336コーディネーター兼務
	336-B	L. 榎本 明	地区ガバナーエレクト	
	336-B	L. 大谷 博	来期地区LCIFコーディネーター	
	336-C	L. 宮本 浩二	地区ガバナーエレクト	
	336-C	L. 池田 康彦	来期地区LCIFコーディネーター	
	336-D	L. 日下 眞二	地区ガバナーエレクト	
	336-D	L. 野津 廣一	来期地区LCIFコーディネーター	
	337-A	L. 松村 誠	地区ガバナーエレクト	
	337-A	L. 中村 巧	来期地区LCIFコーディネーター	
	337-B	L. 増田 勝也	地区ガバナーエレクト	
	337-B	L. 河野 公史	来期地区LCIFコーディネーター	
	337-C	L. 川原 保治	地区ガバナーエレクト	
	337-C	L. 宮本 成治	来期地区LCIFコーディネーター	
	337-D	L. 脇黒丸 一典	地区ガバナーエレクト	
337-D	L. 吉村 千鶴子	来期地区LCIFコーディネーター	MD336/337副エリアリーダー兼務	
337-E	L. 鹿子木 裕二	来期地区LCIFコーディネーター		
		L. 濱島 清美	グループリーダー	

地区	エリア：AL・SAL・MDC	CC・DG	2024-2025年度実績					達成率 (速報値)
			4月累計	5月末速報値 (銀行ベース)	6月速報値(9日現在) (銀行ベース)	今期累計 (速報値)	今期目標	
330-A	東京	森 亮介	300,157	61,134	2,189	363,480	500,000	72.7%
330-B	神奈川・山梨・東京	倉田 雅史	452,451	53,490	6,580	512,520	510,000	100.5%
330-C	埼玉	猪野塚 弘樹	217,576	1,000	1,000	219,576	200,000	109.8%
MD330計	330MDC 櫻井 貴裕	伊賀 保夫	970,183	115,624	9,769	1,095,576	1,210,000	90.5%
331-A	道央	美田 法賢	446,828	11,186	636	458,650	270,000	169.9%
331-B	道北・道東	伊東 隆志	87,160	710	0	87,870	150,000	58.6%
331-C	道南	齋藤 尚仁	153,461	806	0	154,267	150,000	102.8%
MD331計	331MDC 美田 法賢	諏訪 昇三	687,448	12,703	636	700,787	570,000	122.9%
332-A	青森	吉澤 俊寿	111,631	25,214	0	136,845	130,000	105.3%
332-B	岩手	平野 嘉男	84,469	1,027	0	85,496	100,000	85.5%
332-C	宮城	佐藤 久一郎	98,991	210	4,150	103,351	95,000	108.8%
332-D	福島	車田 信彦	133,317	0	0	133,317	120,000	111.1%
332-E	山形	安孫子 英彦	60,431	15,609	69	76,110	75,000	101.5%
332-F	秋田	長澤 源一	68,762	4,507	0	73,269	60,000	122.1%
MD332計	332MDC 村上 孝	渡邊 俊弥	557,098	46,567	4,219	607,884	580,000	104.8%
333-A	新潟	高頭 八郎	264,132	50	0	264,182	220,000	120.1%
333-B	栃木	福田 智恵	134,630	1,206	0	135,836	130,000	104.5%
333-C	千葉	大瀧 勝明	183,498	10,845	820	195,163	250,000	78.1%
333-D	群馬	染谷 文雄	113,931	4,850	0	118,781	150,000	79.2%
333-E	茨城	椎名 健二	346,736	22,338	0	369,074	500,000	73.8%
MD333計	333MDC 中嶋 正昭	佐藤 裕幸	1,046,385	39,289	820	1,086,494	1,250,000	86.9%
MD330・333計	330・333 SAL 石原 英司		2,015,382	154,913	10,589	2,180,884	2,460,000	88.7%
MD331・332計	331・332 SAL 及川 隆人		1,244,003	59,269	4,855	1,308,128	1,150,000	113.8%
東日本計	東日本AL 阿久津 隆文		3,259,385	214,182	15,444	3,489,011	3,610,000	96.6%
334-A	愛知	柴田 高志	959,218	14,843	3,900	977,961	1,100,000	88.9%
334-B	岐阜・三重	丹羽 浩康	327,179	6,776	1,000	334,955	340,000	98.5%
334-C	静岡	鷹嶋 邦彦	292,110	7,610	1,300	301,020	300,000	100.3%
334-D	富山・石川・福井	杉木 徹	332,696	16,969	1,000	350,665	400,000	87.7%
334-E	長野	浜 一平	300,627	8,653	200	309,480	260,000	119.0%
MD334計	334MDC 原口 秀樹	喜多 友一	2,211,831	54,851	7,400	2,274,081	2,400,000	94.8%
335-A	兵庫東(神戸)	永田 雅章	164,705	19,305	4,078	188,087	200,000	94.0%
335-B	大阪・和歌山	古川 繁浩	896,289	16,550	300	913,139	900,000	101.5%
335-C	滋賀・京都・奈良	野々山 宏	588,648	1,926	0	590,574	550,000	107.4%
335-D	兵庫西(姫路)	今市 明弘	278,600	14,866	384	293,851	200,000	146.9%
MD335計	335MDC 高井 利夫	廣田 晃一	1,933,242	52,646	4,762	1,990,651	1,850,000	107.6%
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	石井 淑雄	425,867	33,163	2,833	461,863	448,000	103.1%
336-B	岡山・鳥取	上原 正樹	174,849	64,752	2,000	241,601	220,000	109.8%
336-C	広島	鳴戸 大二	219,248	8,200	2,200	229,648	260,000	88.3%
336-D	山口・島根	神田 義満	208,324	8,477	2,011	218,812	230,000	95.1%
MD336計	336MDC 高岡 英治	藤井 信英	1,028,288	114,592	9,044	1,151,924	1,148,000	100.3%
337-A	福岡・長崎	矢野 進	483,055	7,444	0	490,498	500,000	98.1%
337-B	大分・宮崎	武永 健治郎	98,056	1,433	0	99,489	200,000	49.7%
337-C	佐賀・長崎	為永 一夫	241,958	1,900	3,782	247,640	230,000	107.7%
337-D	鹿児島・沖縄	宇都 要一	186,098	17,341	0	203,439	200,000	101.7%
337-E	熊本	吉井 本	132,184	2,000	0	134,184	150,000	89.5%
MD337計	337MDC 二場 安之	濱田 浩平	1,141,351	30,117	3,782	1,175,250	1,280,000	91.8%
MD334・335計	334・335 SAL 遠藤 紀夫		4,142,981	107,497	12,162	4,262,640	4,250,000	100.3%
MD336・337計	336・337 SAL 橋本充好/吉村千鶴子		2,171,490	144,709	12,826	2,329,025	2,428,000	95.9%
西日本計	西日本AL 松岡 勲		6,314,471	252,206	24,988	6,591,665	6,678,000	98.7%
全日本合計	会則地域リーダー 鈴木 誓男		9,573,856	466,388	40,432	10,080,677	10,288,000	98.0%

一人100ドル寄付参加率 比較			
会員数(子会員を除く) (2025年4月現在)	\$100寄付参加率 (2025年4月現在)	\$100寄付参加率 (昨年度末)	\$100寄付参加率 (キャンペーン100最終年度末)
3,881	10.5%	13.4%	26.1%
3,131	30.1%	28.4%	35.5%
1,462	21.8%	7.6%	44.8%
8,474	19.7%	16.8%	32.6%
2,103	39.6%	45.5%	53.9%
1,648	7.3%	9.3%	26.8%
1,260	18.1%	25.3%	30.8%
5,011	23.6%	28.4%	38.6%
1,725	9.9%	5.0%	31.7%
1,237	4.4%	4.4%	16.3%
1,197	10.4%	10.2%	21.9%
1,708	17.6%	10.4%	39.2%
1,350	3.6%	5.8%	21.8%
880	1.6%	2.5%	15.3%
8,097	8.8%	6.7%	25.8%
2,514	29.8%	26.3%	45.7%
959	17.8%	19.3%	21.2%
2,293	19.8%	14.0%	15.1%
1,368	12.9%	10.0%	14.4%
2,896	37.4%	36.9%	52.5%
10,030	26.3%	23.5%	33.5%
18,504	23.2%	20.3%	33.1%
13,108	14.4%	15.1%	30.8%
31,612	19.6%	18.2%	32.2%
3,789	34.5%	41.1%	40.5%
2,565	20.5%	22.3%	28.3%
2,542	32.1%	27.7%	29.3%
3,291	27.3%	22.7%	39.3%
1,675	45.4%	47.4%	44.2%
13,862	31.1%	31.5%	36.2%
1,531	27.0%	28.8%	36.9%
4,784	56.3%	57.7%	63.1%
3,263	81.8%	79.4%	69.2%
1,367	31.1%	48.7%	47.1%
10,945	56.6%	59.0%	59.0%
4,261	16.1%	22.4%	22.9%
2,190	14.8%	8.2%	20.8%
2,471	7.2%	11.7%	20.0%
2,594	6.8%	5.9%	9.2%
11,516	11.8%	13.8%	18.9%
3,724	17.9%	9.2%	14.4%
1,911	7.8%	5.9%	27.7%
2,159	9.3%	7.1%	35.9%
1,808	14.5%	15.0%	38.2%
1,507	30.3%	23.5%	38.9%
11,109	15.6%	11.2%	28.1%
24,807	42.4%	43.7%	46.3%
22,625	13.7%	12.6%	23.4%
47,432	28.7%	28.9%	35.4%
79,044	25.1%	24.5%	34.1%

*レガシー・ソサエティ寄付(遺贈寄付) 誓約の生前贈与寄付1万ドルを実行された寄付者の寄付も含まれます。

ライオンズクラブ国際協会336複合地区
(2024-2025年度)

MISSION1.5進捗報告書

2024.7月～2025.5月

336複合地区ガバナー協議会議長 藤井 信英

336-A地区ガバナー 石井 淑雄

336-B地区ガバナー 上原 正樹

336-C地区ガバナー 鳴戸 大二

336-D地区ガバナー 神田 義満

報告書作成者

336複合地GMTコーディネーター 宮本 浩二

FILTER BY RESET

LCI | GAT

- Total Membership
- Drop Membership
- Membership by Type

CA
すべて

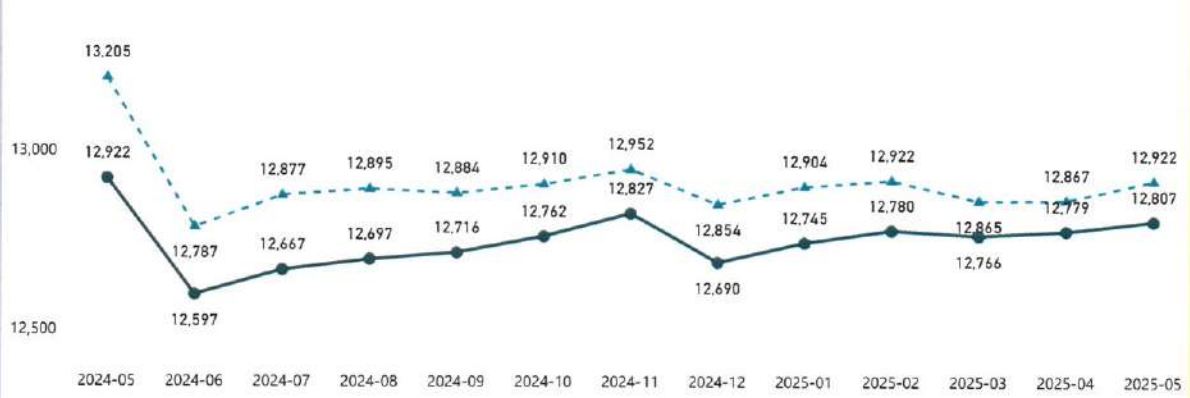
Multiple District
336

District
すべて

(選択可能な操作はありません)

Total Membership by Month

● Total Membership ▲ Total Membership 1 Year Ago (Same Time Frame)



Membership Metrics

12,807
Total Membership

954
Drop Members in FY

1,164
Members Added in FY

210
Net Growth in FY

1.64%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
<input type="checkbox"/> Orient and Southeast Asia	12,807	12,922	1,164	954	210	
合計	12,807	12,922	1,164	954	210	



Powered by Salesforce

2024 Lions Clubs International
300 W. 22nd Street, Oak Brook, IL 60523-8842

FILTER BY [RESET](#)

LCI | GAT

Total Membership

Drop Membership

Membership by Type

CA

すべて

Multiple District

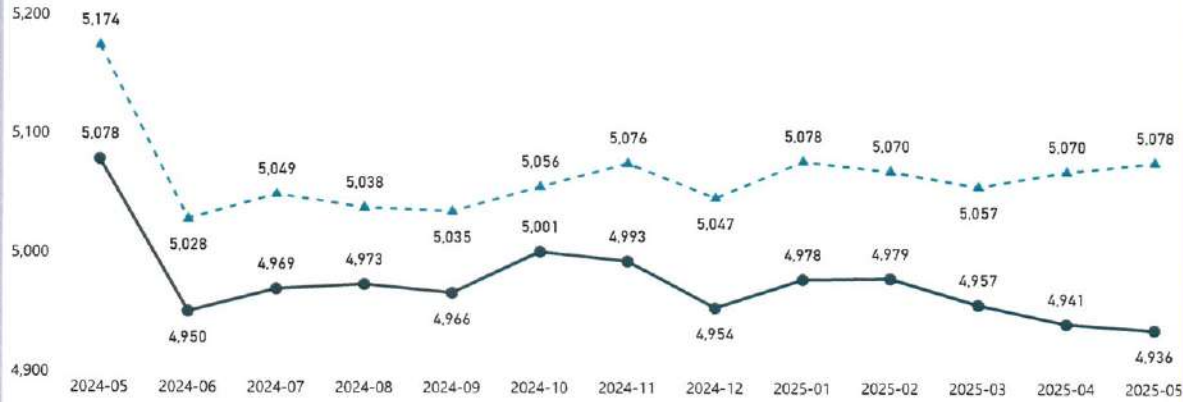
336

District

336 A

Total Membership by Month

● Total Membership ▲ Total Membership 1 Year Ago (Same Time Frame)



Membership Metrics

4,936
Total Membership

465
Drop Members in FY

451
Members Added in FY

-14
Net Growth in FY

-0.28%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
☑ Orient and Southeast Asia	4,936	5,078	451	465	-14	
合計	4,936	5,078	451	465	-14	



Powered by Salesforce

2024 Lions Clubs International
300 W. 22nd Street, Oak Brook, IL 60523-8842

FILTER BY RESET

LCI Hierarchy

GAT

Total Membership

Drop Membership

Membership by Type

CA

すべて

Multiple District

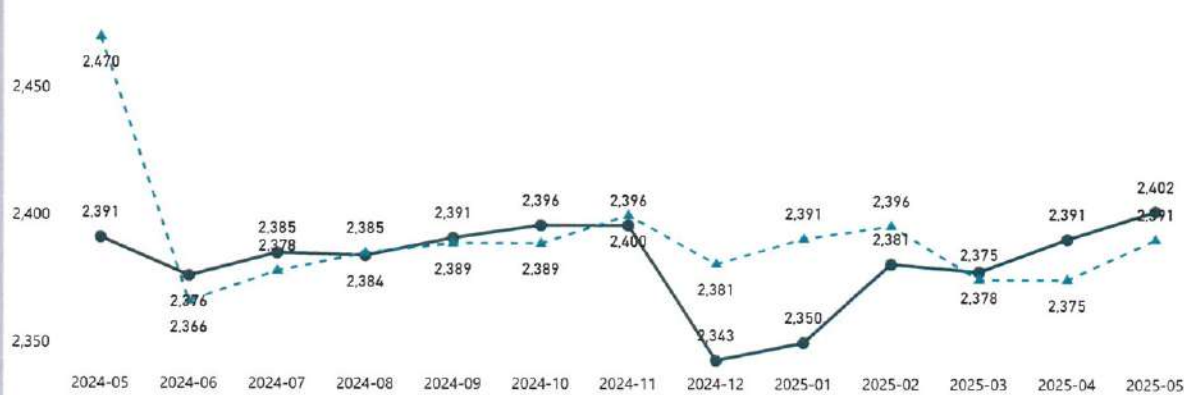
336

District

336 B

Total Membership by Month

● Total Membership ▲ Total Membership 1 Year Ago (Same Time Frame)



Membership Metrics

2,402
Total Membership

185
Drop Members in FY

211
Members Added in FY

26
Net Growth in FY

1.08%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
<input checked="" type="checkbox"/> Orient and Southeast Asia	2,402	2,391	211	185	26	
合計	2,402	2,391	211	185	26	



Powered by Salesforce

2024 Lions Clubs International
300 W. 22nd Street, Oak Brook, IL 60523-8842

FILTER BY RESET

LCI | GAT

- Total Membership
- Drop Membership
- Membership by Type

CA
すべて

Multiple District
336

District
336 C

Total Membership by Month



Membership Metrics

2,752
Total Membership

159
Drop Members in FY

184
Members Added in FY

25
Net Growth in FY

0.91%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
<input checked="" type="checkbox"/> Orient and Southeast Asia	2,752	2,824	184	159	25	
合計	2,752	2,824	184	159	25	



Powered by Salesforce

2024 Lions Clubs International
300 W. 22nd Street, Oak Brook, IL 60523-8842

FILTER BY **RESET**

LCI | GAT

- Total Membership
- Drop Membership
- Membership by Type

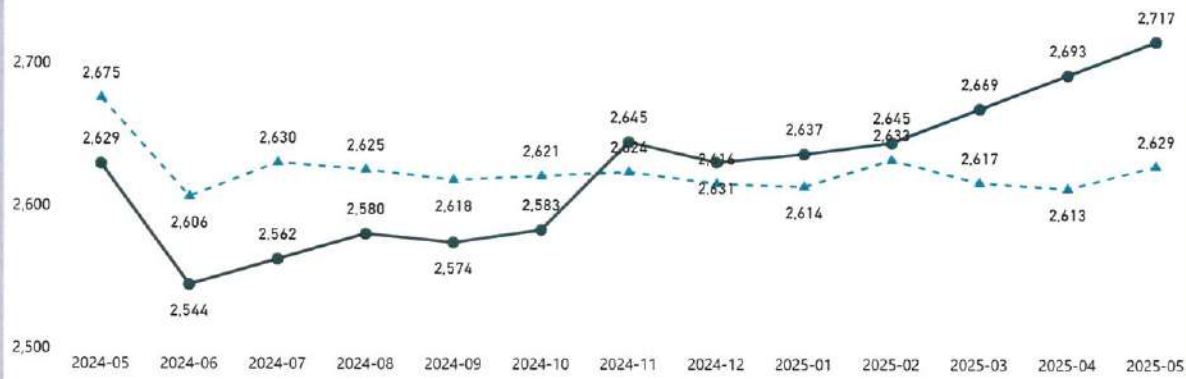
CA
すべて

Multiple District
336

District
336 D

Total Membership by Month

● Total Membership ▲ Total Membership 1 Year Ago (Same Time Frame)



Membership Metrics

2,717
Total Membership

145
Drop Members in FY

318
Members Added in FY

173
Net Growth in FY

6.37%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
☑ Orient and Southeast Asia	2,717	2,629	318	145	173	
合計	2,717	2,629	318	145	173	



Powered by Salesforce

2024 Lions Clubs International
300 W. 22nd Street, Oak Brook, IL 60523-8842

MD336クラブ（クラブ支部）及び会員増減

		クラブ数	新結成	解散	クラブ数 増減	クラブ支 部数	新結成	会員数	入会者数	退会者数	会員数 増減	男性 会員数	女性 会員数	女性の 割合	家族会員 (子会 員)	子会員の 割合	男性 子会員数	女性 子会員数	子会員を 除く会員 数
2024～2025	336-A	133	3	4	(1)	21	12	4,936	451	465	(14)	3,799	1,142	23.1%	680	14.0%	147	533	4,255
2024年6月末	336-A	134	0	1	(1)	12	5	4,949	451	530	(79)	3,803	1,146	23.2%	732	14.8%	154	570	4,217
2023年6月末	336-A	135	0	2	(2)	11	5	5,028	359	508	(149)	3,863	1,164	23.2%	749	14.9%	151	598	4,279
2022年6月末	336-A	137	0	3	(3)	6	1	5,177	392	629	(237)	3,992	1,185	22.9%	794	15.3%	157	637	4,383
2021年6月末	336-A	140	0	0	0	5	0	5,414	395	499	(104)	4,152	1,262	23.3%	855	15.8%	171	684	4,559
2020年6月末	336-A	140	0	2	(2)	5	1	5,518	399	674	(275)	4,304	1,214	22.0%	835	15.1%	164	671	4,683
2024～2025	336-B	79	1	3	(2)	12	2	2,391	192	177	15	2,000	391	16.4%	201	8.9%	45	156	2,179
2024年6月末	336-B	81	0	2	(2)	10	0	2,376	246	236	10	1,988	388	16.3%	197	8.3%	42	161	2,179
2023年6月末	336-B	83	0	2	(2)	14	1	2,360	198	299	(101)	1,992	368	15.6%	194	8.2%	39	155	2,166
2022年6月末	336-B	85	0	2	(2)	13	1	2,461	153	322	(169)	2,049	412	16.7%	225	9.1%	44	181	2,236
2021年6月末	336-B	87	1	3	(2)	12	1	2,630	165	310	(145)	2,190	440	16.7%	243	9.2%	46	197	2,387
2020年6月末	336-B	89	0	1	(1)	11	1	2,775	191	337	(146)	2,310	465	16.8%	271	9.8%	52	219	2,504
2024～2025	336-C	75	0	1	(1)	24	3	2,754	168	141	27	2,242	512	18.6%	283	10.4%	52	231	2,467
2024年6月末	336-C	76	0	3	(3)	21	4	2,727	227	287	(60)	2,239	488	17.9%	285	10.5%	50	236	2,442
2023年6月末	336-C	79	0	0	0	17	8	2,787	214	285	(71)	2,285	502	18.0%	309	11.1%	52	257	2,478
2022年6月末	336-C	79	0	3	(3)	11	1	2,858	179	324	(145)	2,355	503	17.6%	342	12.0%	65	277	2,516
2021年6月末	336-C	82	0	1	(1)	10	4	3,003	211	277	(66)	2,466	537	17.9%	384	12.8%	75	309	2,619
2020年6月末	336-C	83	0	3	(3)	6	2	3,069	215	358	(143)	2,531	538	17.5%	392	12.8%	71	321	2,677
2024～2025	336-D	85	4	0	4	13	2	2,693	288	139	149	2,281	412	15.3%	99	7.5%	11	88	2,461
2024年6月末	336-D	82	0	2	(2)	12	4	2,544	225	287	(62)	2,240	304	11.9%	94	3.7%	11	88	2,450
2023年6月末	336-D	84	0	0	0	7	2	2,606	212	235	(23)	2,283	322	12.4%	103	4.0%	12	91	2,503
2022年6月末	336-D	84	0	4	(4)	5	1	2,629	177	301	(124)	2,310	319	12.1%	119	4.5%	15	104	2,510
2021年6月末	336-D	88	0	0	0	4	0	2,753	188	255	(67)	2,414	339	12.3%	129	4.7%	18	111	2,624
2020年6月末	336-D	88	0	0	0	4	1	2,820	238	336	(98)	2,501	319	11.3%	141	5.0%	20	121	2,679
2024～2025	MD336	373	8	5	(3)	70	18	12,799	1,047	865	182	10,322	2,457	19.2%	1,263	10.9%	255	1,008	11,362
2024年6月末	MD336	373	0	8	(8)	56	13	12,596	1,149	1,340	(191)	10,270	2,326	18.5%	1,308	10.4%	257	1,055	11,288
2023年6月末	MD336	381	0	4	(4)	49	16	12,781	983	1,327	(344)	10,423	2,356	18.4%	1,355	10.6%	254	1,101	11,426
2022年6月末	MD336	385	0	12	(12)	33	4	13,125	901	1,576	(675)	10,706	2,419	18.4%	1,480	11.3%	281	1,199	11,645
2021年6月末	MD336	397	1	4	(3)	29	5	13,800	959	1,341	(382)	11,222	2,578	18.7%	1,611	11.7%	310	1,301	12,189
2020年6月末	MD336	400	0	6	(6)	24	5	14,182	1,043	1,705	(662)	11,646	2,536	17.9%	1,639	11.6%	307	1,332	12,543

※ 実績の数値は5月末現在の速報値を入力しております。確定値ではございません。

336 複合地区ミッション 1.5 研修会 開催結果報告

【開催日時】 2025 年 5 月 23 日（金） 13：30～17：00

【開催場所】 岡山国際交流センター B1F「レセプションホール」

〒700-0026 岡山市北区奉還町 2-2-1 TEL：086-256-2905

【開催の目的】

複合地区及び準地区の現・次期 GAT 担当者を対象に、3 年目を迎えるミッション 1.5 の地区目標達成に向けて、夫々の役割についての周知徹底、加えて現状での各地区の問題点 y 課題の把握（事前課題）と課題解決に向けて次期行動計画の策定。

【研修会受講者】

A 地区-5 名 B 地区-10 名 C 地区-5 名 D 地区-2 名 合計 22 名

【研修会講師】

330 複合地区ガバナー協議会議長 伊賀 保夫（330-A 東京ピース LC 所属）

【研修会次第】

336 複合地区 GLT 担当の石井淑雄ガバナーに研修会の開会挨拶を頂き、続いて 336 複合地区西尾 GLT コーディネーターが講師を紹介した後本日のスケジュールを説明した後、研修会を開始、336 複合地区藤井議長の閉会挨拶で研修会を締めくくった。

【研修-1】

伊賀講師より PP による研修を受ける。

内容は、

1. 自己紹介 2. ミッション 1.5 3. 東京ピースライオンズクラブについて 4. ガバナー期の会員拡大戦略 5. おわりに
の 5 項目に亘りミッション 1.5 の基本からご自身の経験に基づく会員拡大の考え方や手法等についてご講義を頂く。

【研修-2】

小休憩のあと、各準地区に分かれてワークショップ形式で事前課題を次年度如何解決するかという点について行動計画に落とし込み作業をしていただき（テンプレート）夫々発表いただいた。尚、発表内容について、伊賀・藤井両議長より講評・指導を頂いた。

【総評】

今回の研修を通し、2027 年 6 月末まで全世界で取組まれるミッション 1.5 の必要性、加えて目標を達成する為のヒントや行動計画作りといった具体的な手法についての意識が醸成されたものと考えている。

しかしながら、3 月のガバナー協議会連絡会議で開催を告知していたにも係らず、参加者が対象者の半分以下であった事が残念な点であった。

報告者

336 複合地区

GLT コーディネーター 西尾慎一

(2024-25 年度)

第7回 アラート委員会 (Web) 議事録

◎日 時：2025 年 4 月 8 日 (火) 14:00-15:30

◎場 所：Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25 年度 理事長 松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC)

2024-25 年度 専務理事 中谷 豊重 (岸和田 LC)

2024-25 年度 アラート委員会委員長 新里 正雄 (沖縄 LC)

2024-25 年度 アラート委員会副委員長 藤井 信英 (岡山みらい LC)

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー 池原 堅 (福山久松 LC)

日本全域リーダー 佐々木 健太 (大阪若獅子 LC)

東日本統括リーダー 木村 知紀 (青森 ZERO LC)

西日本統括リーダー 畑中 隆之 (岡山みらい LC)

2024-25 年度 アラート委員330 複合地区 おおや たもつ 大屋 保 (川越 LC)331 複合地区 あさの けいいち 浅野 敬一 (北見中央 LC)332 複合地区 もんま ひろし 門馬 弘 (原町 LC)333 複合地区 たでぬま かずひろ 蓼沼 一弘 (葛生 LC)334 複合地区 よしだ まさよし 吉田 正義 (榛南 LC) 【欠席】335 複合地区 にしお よしのり 西尾 良典 (大阪北 LC)336 複合地区 にしお しんいち 西尾 慎一 (鳥取 LC)337 複合地区 たかの ゆうこ 高野 裕子 (熊本平成 LC)オブザーバー

MD333 アラート班長 若林 純也 (水戸葵 LC)

日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (諏訪湖 LC) 【欠席】

以上

開会宣言

■24-25年度アラート委員会 委員長 新里 正雄

全国アラートフォーラムin茨城開催の感謝と本日の開会宣言

ご挨拶

■一般社団法人日本ライオンズ 24-25年度 理事長 松浦 淳一

全国アラートフォーラムin茨城開催の感謝、

栗村前議長から大船渡鎮火宣言の報告をいただいた（昨日5：30）件、

近年の気候変動が及ぼす自然災害の脅威、ミャンマー地震（3/28）にはライオンズクラブが無いため奉仕の手が届かず。本日の貴重な時間を有意義な会議になるよう祈念する

出席者の確認

議事録作成人（2名）の指名

MD333 蓼沼委員、 MD337 高野委員

（引継ぎ会議：MD330、MD332／第1回：MD331、MD335／第2回：MD333、MD336／第3回：MD334、MD337／第4回：MD330、MD332／第5回：MD332、MD335／第6回：MD331、MD336）

■新里委員長の指名により、藤井副委員長が議案の司会進行役となった

議案：

1. 全国アラートフォーラム2025 in 茨城（3/14）

・開催報告、事業報告

■MD333班長 L若林実行委員より「事業報告」書の説明

- ・フォーラム参加人数：493名（予定500名）、交流会：271名（予定300名）
- ・交流会で用意したブッフェ食事(参加実数の9割量)は早くに完食となり、予定終了時刻より20分程巻いた
- ・「決算報告」の参加人数は現時点のもの、ノンライオンの参加数は省かれている
- ・余剰金については、約100万円の見通し（参加人数の充足やメンバー手弁当などによる）
- ・入金は今進行中。決算報告は、入金および支払い精算がすべて完了し、スタートの通帳0円（または余剰金が見える段階）に戻したところで終了とする
- ・全国から多くの方に参加いただいたことに感謝申し上げる

【今後の課題提案】

- ・会費額を10,000円とした場合、その内訳（フォーラム登録料と交流会の割合）については、支出のやりくりにも影響する場合がありますので、収入参考値を参考に今後活かしていただきたい
※岡山登録料：フォーラム2,000円 交流会8,000円、茨城登録料：フォーラム2,500円 交流会7,500円
- ・入金、参加申込管理などの集計には「サバンナ」活用が有効との意見があり、次回以降、使用を検討いただきたい（日本ライオンズでの集計を希望）

■藤井アラート副委員長より、

【次年度開催予定について】

- ・MD335西尾委員の立候補をうけ採決をとり、満場一致で決定となった

■佐々木日本全域リーダーより、

【今後の対応】

- ・まずは今期、アラート委員会で準備委員会を立ち上げ、来期委員会に引き継ぐ。
また開催地MD335も、今期に準備委員会を立ち上げ、333-E地区（茨城）からの引継ぎを進める

【次回委員会開催までに提出依頼】

- ・前回より各MDから開催に向けての要望・意見を収集している。今期も同様に、次回委員会開催までに各MDアラート委員は書面にして提出する

2. 第1回MD委員・班長研修会（3/14）

・開催報告

■畑中西日本統括リーダーより報告、

- ・研修会は木村東日本統括リーダーが進めた
- ・この研修内容を各地区・クラブで共有し、アラートに精通した人材の発掘・育成に繋げていただきたい

■佐々木日本全域リーダーより、

- ・今回参加対象のMD委員長、MD班長は、各複合地区で研修会開催を検討いただき、またその際には木村・畑中両リーダーに講師依頼のお声がけをいただければ対応してくれるであろう

■藤井副委員長より、

- ・フォーラム発表に使った資料は活用したいとの要望が多く配信させていただいたが、各地区で使い勝手良いように書き換え利用いただければと思う

■木村東日本統括リーダーより、

- ・情報を皆さんで共有できたことは良かった、それぞれの役割、やるべきことが見え、次の段階へ進めることができると感じた。ただライオンズはOne Year、次へうまく引継ぎ、足跡を残せるようなアラート委員会であればと思う

3. 次年度アラート委員会

・組織案検討

■藤井副委員長より、

能登の災害をうけ委員会のスマート化など意見をいただく機会があった、現在の組織構成について、各MD委員の率直な意見を伺いたい

MD330大屋委員 大災害が各地で起きる昨今、大きな動きができるような組織作りが必要かを感じる

MD331浅野委員 今のままで良い

MD332門馬委員 組織図は問題ないが、ネットワークがうまく機能していないことを大船渡の山林火

災時に実感し反省があった。整備の必要を実感

MD333蓼沼委員 今のままで良い。会議はWebばかりではなく年1回は対面にした方が良い

MD335西尾委員 組織図は問題ない。各地区の温度差がある。各地区の統制の見直しが必要か

MD336西尾委員 緊急性を要するためスムーズに事が運ぶように組織はシンプルであるべきと考える

MD337高野委員 組織はシンプルな方が良い。各MDの事情もあるので副班長の件はMDごとに検討した方が良い

■藤井副委員長より、

- ・ネットワーク（連絡網）について、アラート委員会はグループLINEにより主だった方とは連絡が取れる状況、活用していただきたい
- ・リアル開催について、年度初め、年に1回は実施するのは良いと感じる
- ・現在、各複合にはアラート委員会が発足し、各準地区にも単独でないにしろ存在することとなった。その中で、社団への参加は今日のメンバーまでとし、班長は各MDアラート委員会でMD委員の補佐的役割（MD副委員長など）の方を選任していただき、副班長は各準地区のアラート委員長とすれば、複合、準地区が繋がる関係性が構築できるのではないか、シンプルな組織作りに向けて、そのようなこともこれから考えていく必要があるのではないか

■池原アドバイザーより、

- ・前年度、複雑だった組織構成を整備、現在の組織体系がシンプルでベターなものと感じる。皆さんからの意見も踏まえ、しばらくこの体系で進めていってはいかがか

■藤井副委員長より、

- ・災害が起きてから緊急対策チームを立ち上げるのではなく、期首にはすでに組織作りをしておいていただきたい。現・来期各複合委員とそれらの情報を共有し、アラート委員会で管理することも役割の一つかと考える。アラート委員会の方向性は今期中にも取りまとめ、社団、理事会においても発言していきたい

■松浦理事長より、

- ・災害対応という緊急性のある中、委員皆さんがそれぞれの地区で活動しやすいよう議論いただき、より良い組織作りにつとめていただければと考える

■藤井副委員長より、

- ・これらの話をうけ、社団内での副班長任命の必要性について意見を求めたところ、
「災害時に実際に動くのはMDであり準地区。アドバイスする立場の日本ライオンズには副班長は不要と考える」
「スリム化するのならば、災害が起こった時に被災地・被災者を孤立させないために（一番重要）、隣り合った地区などとパートナーシップを結びサポート体制を明確化していただきたい」
の声があがった
改めて副班長任命の要・不要について採決をとり、満場一致で不要となった。

副班長は準地区委員長が担当するなどとし、複合会議に臨んでいただくこととした

- ・運営規則の改定については、一度、委員長、副委員長、日本全域・東西リーダーとで見直ししたい

4. 各MD活動報告

- MD330 連絡網、組織の強化を行い、準地区委員名を複合にも共有、体制を整えた。6月にセミナーを開催予定。また社協との提携をさらに進める
- MD331 アラートの啓蒙活動、委員会の重要性や、日本ライオンズアラート委員会の認知度を上げるようつとめてきた
- MD332 11月アラート委員会を招集して会議を行った。複合地区での予算工面や受援立場を意識し、規定を作成している
- MD333 各準地区においてアラート意識に温度差を感じるため、各委員長の選任方法、知識の向上などを見直していきたい
- MD335 規程など整備すべきところは多くあり、今期中になるべく取りまとめていきたい。また来期へとしっかり繋げていくためにも認識の統一等に向け、セミナー開催を予定している。4/16には複合アラート委員会を行う
- MD336 準地区およびMDの組織強化、活動規定の整備、資金規程の確認、準地区の意思疎通、社協との締結推進、研修会への積極的参加をメインに行ってきた。特に活動規程の整備については木村リーダーサポートのもと、3月17日に最終提案書完成、28日ガバ協にて承認された。またMD委員は準地区の委員長が担っているため、意思疎通も図られ、皆アラートの必要性を強く感じている
- MD337 グループLINEについては複合、準地区ともに利用している。12月に複合アラート会議を行った。次期は南海トラフの可能性を踏まえ準地区間の協力体制の確認を行う

■池原アドバイザーより提案事項、

- ・「報告書（＝記録）」作成の重要性、
2014年8月20日「広島大規模土砂災害」が発生した際、それぞれの役割を決め対策をスタートさせた。そして人や物、お金の動きが見える「報告書」を作成した（支援金の動き、誰がどこに物を送ったか…など）。「報告書」が「記録」になる。この内容は能登震災が起こった際の有益な情報源となり、当時いただいた支援金額を確認するなどして、能登支援のスピード化に繋がった
- ・アラート委員会の今後について、
地震や豪雨に加え、山林火災など自然災害の幅は広がり、無関心ではいられない状況となっている。日本ライオンズ発足から9年の間に、アラート委員会は年々充実した体制となってきた。さらに仕組みを広げ、研修会も活用し若手育成などを充実させていただきたい

■中谷専務理事より、

- ・組織について、社団の役割は8複合の連絡調整が主体となり、事業主体は複合が担い、MD独自の体制をつくるということが大切と考える。
そして、南海トラフの対策も具体化する必要を感じている

■木村東日本統括リーダーより、

- ・各地に研修に行くと、「日本ライオンズ アラート委員会の役割とは？」と尋ねられる。
活動か啓発か・・・複合、準地区、日本アラートと、それぞれの立場ごとに明確にする必要があると感じる。規程の見直しには、これらのことを盛り込んでいただき、報告フォーマットもそれをもとに活用しやすくなるのではと感じる。
- また、能登支援の現状について、ローテーション対応の話がくるのだが、皆さんのところはどうか？
→藤井副委員長よりMD334内でローテーション支援しているので、他地区に要請はないとの回答

5. 次回、アラート委員会開催日程（最終・引継）

2025年6月17日（火）14：00～15：30（Web）

※できれば次期アラート委員予定者にも参加いただく

閉会の辞

24-25年度 アラート委員会副委員長 藤井 信英

貴重な審議ができた。

岡山火災については今週金曜日に鎮火発表ができるのではないかとされている。けが人なく、空き倉庫が6棟程燃えた状況。今治の鎮火は未定。300人程の一般ボランティアが入っている。

次回委員会で来期の引き継ぎができればと思う

以上

2025年4月8日

議事録作成人：

MD333 アラート委員 蓼沼 一弘

MD337 アラート委員 高野 裕子

2024～2025 年度

336 複合地区第 4 回会則および付則・運営マニュアル編集委員会 議事録

開催日時：2025 年 3 月 21 日（金）15：00～17：00

開催場所：ホテルニューオータニ鳥取

鳥取市今町 2-153 TEL：0857-23-1111

出 欠

役 職	氏 名	出 欠
ガバナー協議会議長	藤井 信英	欠
担当ガバナー	鳴戸 大二	欠
委員長	松岡 諒	○
副委員長	一宮 昭夫	○
336-A 地区委員長	大河内 孝	欠
336-B 地区委員長	西尾 愼一	○
336-C 地区委員長	高重 洋介	○
336-D 地区委員長	今井 久師	欠

司会進行：松岡会則委員長

1 開会挨拶 松岡会則委員長

2 議題

・複合地区会則と準地区会則の全面改正について

松岡委員長より、現在、複合地区会則の中に準地区についての規定が盛り込まれており、準地区の会則附則が決議されていないこと、そのため、これを整理する必要があること、整理した場合、準地区大会において準地区の会則附則を決議してもらう必要がある旨説明。

そのため、次期において、複合地区会則と準地区会則を全面的に整理し直す必要があり、次期に引き継ぐことを確認した。

3 閉会挨拶 西尾委員長

次回委員会 開催未定

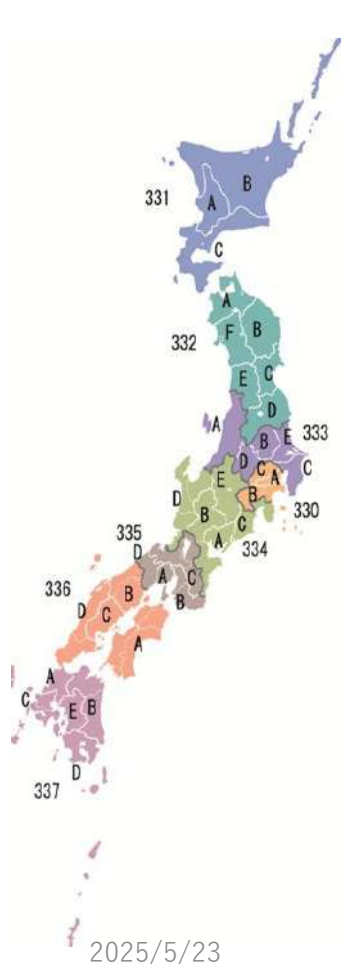
議事録作成者

松岡 諒

336複合地区内ライオンズクエスト・ワークショップ開催実績（2018年7月～2025年6月）

	地区	開催日①	開催日②	都道府県	市区町村	対象	参加者数	主催クラブ	主催教育委員会・学校
1	336-A	2018年7月14日		愛媛県	四国中央市	緑ヶ丘認定こども園・愛和認定こども園	28	川之江LC	
2	336-C	2018年7月28日	7月29日	広島県	広島市	広島市立三入中学校・他	16	336-C地区3R3Z（可部地区）	
3	336-C	2018年8月6日	8月7日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	26	336-C地区1R1Z（福山地区）	
4	336-C	2018年8月7日	8月8日	広島県	廿日市市	廿日市市立佐伯中学校区	24	宮島口LC	
5	336-D	2018年8月9日	8月10日	島根県	松江市	松江市立東出雲中学校	7	東出雲LC	
6	336-C	2018年8月20日	8月21日	広島県	廿日市市	廿日市市立四季が丘中学校区	40	宮島口LC	
7	336-A	2018年8月21日	8月22日	徳島県	鳴門市	市内小・中学校	18	鳴門LC	
8	336-C	2018年12月15日	12月16日	広島県	三原市	市内小・中学校	15	三原LC	
9	336-A	2019年1月26日	2月2日	徳島県	鳴門市	認定子ども園IZUMI	21	鳴門LC	認定子ども園IZUMI
10	336-C	2019年2月9日	2月10日	広島県	竹原市	市内小・中学校	25	竹原LC	
11	336-C	2019年7月27日	7月28日	広島県	広島市	安佐北区内小・中学校	22	北広島千代田LC	
12	336-C	2019年7月29日	7月30日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	22	336-C地区1R1Z（福山地区）	近大付属福山校（2019幹事校）
13	336-B	2019年8月2日		岡山県	岡山市	就実中学校・高等学校	16	岡山LC	就実中学校・高等学校
14	336-C	2019年8月7日		広島県	世羅町	町内小・中学校・高校	17	世羅甲山LC	世羅町教育委員会
15	336-C	2019年8月7日	8月8日	広島県	廿日市市	市内小・中学校	25	宮島口LC	廿日市市教育委員会
16	336-C	2019年8月19日	8月20日	広島県	東広島市	東広島市内小・中学校、他	15	東広島あきつLC	東広島市教育委員会
17	336-A	2019年8月20日		徳島県	鳴門市	市内小・中学校・他	20	鳴門LC	
18	336-A	2019年8月22日	8月23日	高知県	土佐市	市内小・中学校	22	土佐LC	土佐市教育委員会
19	336-C	2019年8月22日	8月23日	広島県	広島市	広島市立瀬野川中学校	23	広島もみじLC	広島市立瀬野川中学校
20	336-D	2020年2月1日		島根県	出雲市	きんろう保育園	30	出雲LC	社会福祉法人きんろう保育園
21	336-C	2021年7月27日	7月28日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	15	336-C地区1R1Z（福山地区）	英数学館（2021幹事校）
22	336-C	2022年7月27日	7月28日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	13	336-C地区1R1Z（福山地区）	ぎんがの郷小学校（2022幹事校）
23	336-A	2022年7月28日		高知県	高知市	学校法人高知学園 高知中学高等学校	11	高知LC、高知LCとさみずき支部	学校法人高知学園 高知中学高等学校
24	336-C	2023年7月27日	7月28日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	14	336-C地区1R1Z（福山地区）	近大付属福山校（2023幹事校）
25	336-A	2023年7月28日		高知県	高知市	学校法人高知学園 高知中学高等学校	9	高知LC	学校法人高知学園 高知中学高等学校
26	336-A	2023年8月19日		徳島県	鳴門市	市内小・中学校・他	23	鳴門LC	
27	336-A	2023年8月25日		高知県	土佐市	土佐市内小・中学校	13	土佐LC	
28	336-C	2023年9月20日		広島県	福山市	地区内（西部）ライオンズクラブメンバー	20	336-C地区	
29	336-C	2023年9月21日		広島県	広島市	地区内（東部）ライオンズクラブメンバー	17	336-C地区	
30	336-A	2024年3月31日		香川県	高松市	香川県内のライオンズクラブメンバー	20	高松東LC	
31	336-D	2024年6月15日		山口県	山口市	336-D地区内（山口）のライオンズクラブメンバー	17	336-D地区	
32	336-D	2024年6月16日		島根県	大田市	336-D地区内（島根）のライオンズクラブメンバー	19	336-D地区	
33	336-C	2024年7月25日	7月26日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	15	336-C地区1R1Z（福山地区）	英数学館（2024幹事校）
34	336-C	2024年7月26日		広島県	広島市	広島市立亀崎小学校	16	336-C地区3R3Z（可部地区）	広島市立亀崎小学校
35	336-A	2024年8月9日		香川県	高松市	高松市内の小・中学校・他	22	高松東LC	
36	336-A	2024年8月20日		徳島県	鳴門市	市内小・中学校・他	19	鳴門LC	
37	336-A	2024年8月23日		高知県	土佐市	市内小・中学校	16	土佐LC	土佐市教育委員会
38	336-C	2024年9月28日		広島県	広島市	地区内（東部）ライオンズクラブメンバー	18	336-C地区	
39	336-C	2024年9月29日		広島県	福山市	地区内（西部）ライオンズクラブメンバー	23	336-C地区	
40	336-C	2025年3月27日		広島県	広島市	広島市立亀崎中学校	17	宮島口LC	広島市立亀崎中学校
41	336-D	2025年4月26日		島根県	出雲市	336-D地区内（島根）のライオンズクラブメンバー	15	336-D地区	
42	336-D	2025年4月27日		山口県	山口市	336-D地区内（山口）のライオンズクラブメンバー	21	336-D地区	
						参加者数合計	805		

ワークショップ開催数（地区別、2025年5月現在）



複合地区	準地区	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22	2022-23	2023-24	2024-25
330		2	4	3	3	2	3	4
331		3	4		2	1	4	2
332		7	9	3	4	2	8	6
333		21	21	2	12	11	17	18
334		23	11	2	7	8	10	8
335		22	21		7	15	22	22
336	A	3	2				4	3
	B		1					
	C	6	6		1	2	3	5
	D	1	1				2	2
		10	10		1	2	9	10
337		20	20	2	5	15	18	17
合計		108	100	12	41	56	91	87

【公印・契印（省略）】

府 益 担 第 2 8 0 号
令 和 7 年 6 月 9 日

公益財団法人日本ライオンズ
代表者 小野寺 眞悟 殿

内閣総理大臣
石破 茂

税額控除に係る証明書

貴法人が、租税特別措置法施行令第二十六条の二十八の二第一項に規定する要件を満たしていることを証明します。

本証明書に係る有効期間は、以下のとおりです。
令和7年6月9日 から 令和12年6月8日 まで

2025年3月31日現在（再提出）

2024～2025年度
第4回 336 複合地区未来ビジョン委員会（WEB） 議事録

日 時：2025年3月18日（火）13：30～16：30 ※接続：13：15～

役 職	氏 名	出欠
ガバナー協議会議長	藤井 信英	○
担当ガバナー（ガバナー協議会副議長）	石井 淑雄	○
担当ガバナー（ガバナー協議会副議長）	上原 正樹	○
担当ガバナー（ガバナー協議会会計）	鳴戸 大二	欠
担当ガバナー（ガバナー協議会幹事）	神田 義満	○
MD 委員長	池原 堅	○
MD 副委員長（A地区第一副地区ガバナー）	向 和人	○
MD 副委員長（B地区第一副地区ガバナー）	榎本 明	欠
MD 副委員長（C地区第一副地区ガバナー）	西本 義弘	○
MD 副委員長（D地区第一副地区ガバナー）	日下 眞二	○
A地区委員長（第二副地区ガバナー）	篠原 孝尚	○
B地区委員長（第二副地区ガバナー）	難波 進	欠
C地区委員長（第二副地区ガバナー）	平 謙介	○
D地区委員長（第二副地区ガバナー）	岡田 和好	欠
ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也	○

準地区選出者【25名】

	氏 名	クラブ	役 職（主な役職名）	出欠
A地区	森岡 淳	松山金亀	LC 会長	○
	伊藤 龍一	新居浜	LC クラブ会長/2R 1Z-ZC	○
	伊藤 篤司	八幡浜	LC 会長	○
	南 臣憲	高松葵	LC クラブ会長	○
	西岡 勇亮	坂出白峰	LC 地区キャビネット副幹事	○
	甲藤 雄司	南国	LC 7R 環境保全・保健福祉委員	欠
	公文 菜穂	高知鏡川	LC クラブ会長	欠
	堀江 和規	徳島すだち	LC クラブ会長 /A地区アラート委員会委員	○
	林 正二	鳴門	LC 9R 青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員	○
B地区	石井 浩二	岡山西	LC 地区アラート委員長	○
	川嶋 洋平	岡山西	LC クラブ理事/テールツイスター	欠
	吉原 徹	岡山操山	LC 地区 GMT コーディネーター	欠
	川原 賢	岡山せとうち	LC キャビネット副幹事	欠
	高尾 佳孝	境港	LC 地区 GLT コーディネーター	欠
	松本 善文	境港	LC 地区 IT・M・ライオンズ情報委員長	欠
C地区	前原 隆志	福山久松	LC 地区未来ビジョン特別委員会委員	○
	桑木 達也	福山新市	LC クラブ幹事	欠
	長尾 光徳	尾道瑠璃	LC 地区 GLT 委員会委員	欠
	上田 健一郎	呉ブルー	LC クラブ会計	○
	斉藤 守	宮島口	LC	欠
	栗川 康芳	広島鯉城	LC 地区キャビネット副幹事事務局次長	○
D地区	金子 勝	徳山中央	LC 336-D地区 FWT 副コーディネーター	○
	山田 泰三	防府	LC	○
	馬庭 吾以千	出雲中央	LC 336-D地区 M 副委員長	○
	植田 節雄	浜田	LC 一社)日本ライオンズ アラート委員会 MD336 副班長 MD 環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会副委員長	○

1. 開会のあいさつ 複合地区未来ビジョン委員会 委員長 池原 堅
司会進行をさせていただく。
2. 出席者の紹介 D地区第一副地区ガバナー 日下 眞二
日下第一副地区ガバナーの出席が遅れる為、池原委員長より紹介
各地区代表者および若手会員 計 28 名（上記出欠リスト参照）
3. 議長挨拶 ガバナー協議会議長 藤井 信英
MD336 内各地区間での情報交換の機会を含め、今後それぞれの準地区でリーダーを担う方
へ向けての育成の場となる委員会であって欲しい

池原委員長より下記補足があった。

MD336 として一番に取り組む内容として、今一度、現ガバナーに「的を絞って」活動をして
いただきたい。また、今までの流れには私自身の強い思い入れが含まれている。アンケート
を実施して今後この委員会を進めていきたい。

4. 議事録作成人
A 地区第二副地区ガバナー 篠原 孝尚 C 地区第二副地区ガバナー 平 謙介
5. 議 題
 - ①前回の委員会内容について
 - ②未来ビジョン委員会任期と役職名について
 - ③取組事項アンケート調査に付いて
 - ④組織の長期的成長と繁栄する為の戦略(次世代リーダー他)
 - ⑤(一社)日本ライオンズ・公益財団法人日本ライオンズについて
その他事項

池原委員長より各地区ガバナーへの質問と回答

A 地区石井ガバナー

短期事業、長期事業いずれにしても何に絞るかが第一義である。若手会員の登用によって
将来的にどのような委員会を目指すのか委員長自身に発表していただきたい。

B 地区上原ガバナー ※移動中につき発言不可

C 地区鳴戸ガバナー 欠席

D 地区神田ガバナー

D 地区ではキャンパスクラブが 5 つあるが、この委員会との相乗効果でキャンパスクラブ
も増えるのではないかと期待している。

池原委員長より各地区選出若手会員各位への質問

Q：取組みとして何をやっていきたいか？

A 地区森岡さん この委員会の目的がまだ明確に把握出来ていないので方向性をいただきたい

A 地区堀江さん まだ短期的、長期的にイメージ出来るものがないので教えていただきたい

A 地区林さん

何をするのかと問われるとすぐには回答出来ないが、ライオンズクラブの魅力は幅広い年代が属し
ていること、同じ年代が集まるのはよい機会である

A 地区西岡さん 今後の方針は任せたいが、会員増強成功事例等を共有出来る場としてほしい

B 地区石井さん

何をすべきか即答は出来ないが、アクティビティや勉強会を一緒にやってみてはどうか

A 地区向第一副地区ガバナー

委員会のみではなく、共通の趣味を通じて一緒に活動をしてはどうか

C 地区西本第一副地区ガバナー

まずライオンズクラブについて知っていただく「広報効果」を強化してはどうか、

また、今後 30 年の内に 80%の確立で起こると言われている南海トラフ地震についてのアラート対
策を MD336 全体で取り組んでみるのはどうか。

D 地区日下第一副地区ガバナー

シカゴで全国の第一副地区ガバナーと共に勉強をしたが、様々な方と交流することが大切であると

考える。

A 地区篠原第二副地区ガバナー

退会者をいかに減らしてゆくかを考えると同時に、会員拡大についてはクラブ支部結成が有効かと感じる。クラブ内でも若手メンバーに役に就いていただいたり、若手皆様の参加の場を増やしていただきたい。

C 地区平第二副地区ガバナー

C 地区では会費負担のルール等が明確になっていない為、キャンパスクラブ結成が遅れているが、クラブ支部結成の成功例も含め、若い方々で知識を共有して議論を深めていただきたい。

池原委員長より 336 複合地区と他複合地区の現状について下記話があった

どの地区、どのクラブでも会員増強拡大の必要性について認識が大きくなってきているが、現状無頓着なクラブも沢山存在する。336 複合地区では、ガバナー協議会を年間 4~5 回行っているが、330-C 地区は毎月ガバナー協議会を開催しており、ガバナー協議会構成員だけではなく若手の方が多く参加している。未来ビジョン委員会に若手会員の方 25 名に入っていたが、こういう基本的な部分を皆で共有するべきで、4 地区のガバナーと意見交換をすることにより、レベルがあがると考える。第 3 回ガバナー協議会で依頼をしました、若手会員の任期と役職については次期への送りとなったが、こういう場が会員増強の為に情報交換の場となる。また、3/21 に 335-B 地区と 336-C 地区ガバナーと若手会員を入れて意見交換交流会を行う。こういう場を複合地区、準地区でも設けることにより、横のつながりが形成されると同時にレベルが上がっていくと考える。ガバナーと若手会員のレベル格差をなくすことが大切である。

池原委員長から藤井議長へ質問

藤井議長が「みらいライオンズクラブ」を全国に増やしていつているが？

藤井議長より回答

「みらい」の名称がついたクラブとなるが、岡山みらいライオンズクラブは事務局や事務局員を置かず、安価な会費で会員を募るスキームを私が立ち上げた。336 複合地区内では、「徳島みらいライオンズクラブ」、また 337 では「北九州みらいライオンズクラブ」、「霧島みらいライオンズクラブ」、「福岡博多みらいライオンズクラブ」、335 では「兵庫みらいライオンズクラブ」いずれも同じ志のもとでクラブ運営がなされている。「東京みらいライオンズクラブ」も結成準備を進めている。今後「みらい同盟」として拡大していけるよう取り組んでいる。

池原委員長より補足コメントがあった

色々なやり方があるが、オリエンテーションが必要ではないかと感じる。横のつながりが持てる研修会の場を設けることが大切である。⇒次世代リーダー育成の為の原点

こういったことを応用して行っていただきたい。

ライオンズクラブについてのオリエンテーションを身に着くまで、せめて 3 年間程は研修会をガバナーとともに行うことが必要。

《10 分間休憩》

池原委員長より追加コメント

茨城で開催されたアラートフォーラムは 500 名以上の参加者であった。アラート委員会に関わっているメンバーの関係性は大変濃厚である。335-B 地区ではクラブのみではなく、地区単位で新会員一同を集めて親睦交流会を毎年行う。結束力が友好の輪を拡大する為の大きなポイントとなる。

藤井議長よりコメント

当時、準地区、複合地区ともに「アラート委員会」はまだ存在しなかった。クラブを立ち上げて半年後に西日本豪雨が発災、真備被災地区へいち早く入り、現地対策本部を立ち上げ、クラブ単体で炊き出しや物資の運搬等、46 日間連日連夜被災地支援活動にあたった。SNS で活動について投稿することにより、全国からの支援の輪が拡がり徐々に仲間が増えていった。

現在、北は青森、南は熊本まで 8 つの「友好クラブ」が存在する。クラブのチャーターナイトに互いが参加する慣習が根付いた。横のつながりは今後の活動においても大変有効であると実感する。

池原委員長より各地区選出若手会員各位への質問（続き）

Q：取組みとして何をやっていきたいか？

C 地区前原さん

クラブごとでモチベーションが異なると感じる。複合地区内の委員会へ出席して得たものをクラブへ持ち帰って活用出来る情報（セミナー、講師等）を共有したい。複合の委員会へ出席しているメンバーの方にクラブの中でいかに活躍していただくか、と思ってもらうこともやりがいにつながる。複合地区役員として出向しているメンバーに対して「好きだから出ている」という風潮をなくすこ

とも大事な点であると考え。また、個人のみならず、会社としてビジネスマッチング的なものがあるのもよいのではないかと考える。

D 地区金子さん

今年度 FWT 副コーディネーターを担っているが、これを通じてミッション 1.5 等勉強する機会があった。支部クラブを立ち上げ、エクステンションからキャンパスクラブの結成も経験した。山口大学の支部結成式が明日執り行われ、山口県では、キャンパスクラブと支部クラブを中心にミッション 1.5 に向かって走っている状況である。下関にも支部クラブ結成の予定がある。徳山でも結成について話し合いが行われている。支部クラブで過ごした方々が将来社会に出てライオンズクラブへ入るといのが有効ではないかと考える。鳥取県出身で徳山公立大学へ通っている学生がいるが、地元へ帰って地元のライオンズクラブの例会に出席したいとのこと、鳥取のライオンズクラブへ引き継いだ。学生の卒業のタイミングを生かすのも方法である。

池原委員長より金子さんへ質問

第 3 回未来ビジョン委員会の後、D 地区キャビネット会議に出席させていただいた。その際に、特別支援学校フットサル大会について話があった、その後の状況はいかがか？

⇒金子さんの回答

支部クラブのある会社には了承を得ているが、クラブ内で整理すれば話が進むかと思う。

D 地区馬庭さん

少子高齢化を抱える島根、山口県に於いて、若者だけのクラブが結成されることは、よくも悪くも大きな変化である。学生を絡めたライオンズクラブの広告のあり方等、新たな取り組みが生まれる。どの地区でも成功例だけではなく、失敗例についても情報を資産として共有出来る場になればと思う。

他地区の状況を鑑みて自分達の地区について深く考えることも、次世代リーダー育成という目的に最終的には敵ってくるのではないかと考える。

D 地区植田さん

研修会、ワークショップ、意見交換会を行いお互い切磋琢磨出来ればよいと思う。モデルとなるようなすばらしい取組みを行っている地域に視察に訪れたり、交流を深めて自分達の複合地区、準地区、クラブへ持ち帰る取組みをするべきであると考え。

クラブ、準区から冷めた目でみられるケースがあるが、勉強をしたいと前向きな人に対して準地区、複合地区からしっかり応援していただき、皆さんで盛り上げていければと思う。

A 地区南さん

短期とは、どのくらいのスパンをいうのか？

池原委員長⇒3 年程と考える

ガバナーの方針で色々なことを取り組んでいくと思う。それが毎年変わっていくのであれば、それについて短期とらえることはよくないのではと考えていたが、3 年であると中期的なところでじっくり取り組むことが出来るかと思う。ライオンズメンバーの熱量の差が著しい部分には疑問を感じることもある。会員増強については、会員自身が「ライオンズクラブの魅力」を実感していない為、自信をもって勧誘することが出来ないケースもあるのではないかと考える。個人個人が「ライオンズクラブの魅力」を実感しつつ横のつながりを広げ、活発な活動とともに仲間を増やしていきたいと思えたらよいと思うが、それが何かと言われると具体的には分からない。

池原委員長より補足説明

短期、中期(3 年以上～)、長期でプランをしているが、まず、3 年以内で出来る一番必要なことは何であるか皆さんの意見をいただいている。

A 地区伊藤篤史さん

創立 70 周年に向かって一丸となれる空気をつくることに重きを置いている。昨年と今年で若手会員の方が 9 名入っていただけなので、現在のよい雰囲気をどう継続していくかが大切であると考えている。上の世代の皆様も若い世代の方と和気藹々と過ごしている。短期的には今この空気を継続していくことが大切であると感じている。

池原委員長より補足説明

ライオンズクラブは不連続の連続で、1 年ごとでガバナーが変わる為、全く異なる運営方針が立てられるケースが多い。これが良いのか悪いのかは別として、基本的には継続出来る方針が大事であると考え。これに、国際協会から下りてくる方針を絡めうまくカスタマイズすることが重要である。複合地区であれ、準地区であれ、型にはまるのではなく、柔軟に物事が流れる方が争いも少な

いし考え方も自由に変えていけると思う。

複合地区、準地区問わず色々な場に出向いて、横の繋がりを構築する機会を増やすべきであるが、336 複合地区内については機会が少ないと感じる。アラート関連では会員同士がクラブへ訪問したり諮問委員会へ出たりしているところもあるが全体的には少ない。私の場合は、それなりの役職を経験した為呼ばれることがある。例会を欠席した場合、他のクラブへ行くということが最近は少なくなってきた。出来るだけ自分のクラブ以外のクラブへ行ってみると会員間の繋がりも広がるはずである。お互いの意思が繋がる場がこれらも必要である。新会員であれ、ベテラン会員であれクラブへ入ったら自由に会話出来る仕組みを作っていたきたい。次世代リーダー育成をする為にこの 3 年以内に A～D 地区の皆さんの意見を基に私がアンケートを作成し実施するようにする。第 5 回委員会を計画しているので、その際に今期を締めたいと思う。

D 地区神田ガバナー

交流をはかることが大事であると思う。動くことで得るものが多くあるかと思う。経費もかかるかと思うので、若い方達の交流の機会の為に予算を組めるとよいと思う。ライオンズクラブとはどういふものかオリエンテーションの実施も大切である。335-B 地区の取組みやアラートの例も大変有効な情報である。D 地区ではキャンパスグループで 160 名程いると思うが、こういった若い方々がアラートやボランティアに携わってくるのではないかと期待をしている。

池原委員長より本日 (3/18 現在) の会員移動状況について報告

336 複合地区の会員数 (A～D 地区) 12,839 名 (+242 名)

私がガバナーをやった 4 年前より多い。特に D 地区は +145 で、キャンパスクラブの実績が反映されている。また、A～C 地区についてもプラスとなっている。全世界でも 27,919 名プラスとなっている。会員増強がかなり積極的に取り組まれている。この未来ビジョン委員会も準地区へ貢献出来るはずなのでよろしく願いたい。

アンケートをまとめたものを次回第 5 回委員会で提示する。

※アンケート内容についての概要説明

池原委員長から一般社団法人日本ライオンズについての説明

※別添資料に基づいて組織構成について説明 現在正社員 60 名で構成されている。

※ライオンズクラブ国際財団(LCIF)について

※別添資料 (昨年資料) に基づいて組織構成について説明

池原委員長から公益財団法人日本ライオンズについての説明

児童養護施設 (全国 610 か所) の小学校について国からの補助金がないので、小学生の家庭教師に公益財団法人が資金援助を行っている。336 複合地区では、D 地区島根、A 地区香川が支援対象となっている。毎年 50 万円の支援金を公益財団から出費している。

フットサル事業については 3 年前に開始、今年で 4 回名となる。現在、第二副地区ガバナーにご支援をいただいている。フットサルを採用していただいた特別支援学校には大会費用の全てを公益財団から支援することになっている。年に 1 度予選が環太平洋大学で行われているがそれに係る全ての費用は公益財団から支援することになっている。障害を持った子供たちの就労に向けた忍耐力教化の為に取り組まれている事業である。全国で 122 校が地区大会に参加をしている。

アラート支援に関して、内閣府から承認がおりた。一般社団法人日本ライオンズアラート委員会は予算を有してない為、今後については公益財団法人がボランティア支援を行うことになる。人、物資、資金を公益財団法人が担当することになっている。詳細はまだ公になっていないが一般社団法人日本ライオンズと公益財団法人日本ライオンズとの協議によって決まる。公益になったおかげで、所得控除と税額控除が可能となった。寄付金をいただくと控除されるので、寄付をお願いしたい。公益財団法人は全て寄付金でやりくりをしているが、今後のところははっきりしていない。大まかな説明をさせていただいた。

日下第一副地区ガバナーより質問

会員各位に対して寄付金をお願いする際に LCIF と公益財団法人日本ライオンズの両立についてお聞きしたい。「LCIF には 100 ドル寄付で目標を達成して欲しい」「それより多額の場合は公益財団法人日本ライオンズへ寄付を」と会員へ話したが、この依頼の仕方でのよいのか。

池原委員長の回答

詳細については一般社団法人日本ライオンズと公益財団法人日本ライオンズが今後協議をする予定である。一般社団法人日本ライオンズは予算を有していない為事業が行えない。公益財団法人日本ライオンズは事業が。8 複合地区議長が次年度から協議していくかと思われる。私から

は「寄付をお願いする」としか言いようがない。他7複合地区からはそれなりの寄付金が出ており、寄付額が多いのは331複合地区と337複合地区である。数千万の寄付金が集まっている。336複合地区の現状は50～60万である。個人的にお願いをしているので今年度は数百万は増える見込みである。LCIF（ライオンズクラブ国際財団）の基金が存在するので慎重な話し合いが必要である。

日下第一副地区ガバナーより質問

LCIFは運営費で賅っているかと思われるが、公益財団法人日本ライオンズは寄付金の中から手数料が発生するのか。

池原委員長の回答

現時点では何とも言うことが出来ない。

池原委員長から石井ガバナーへ質問

A地区分割問題と新複合地区結成について耳にするが、流れについてお話いただきたい。

A地区石井ガバナーより回答

A地区は4県で構成、まず2つの準地区に分割したいと思っている。愛媛県と高知県、徳島県と香川県の案で進めている。会員が5000人おり、徳島県と香川県だけで56(57)クラブ、会員が約2000人となっている。愛媛県と高知県では77クラブ、会員が約3000人いらっしゃる。準地区は35クラブ以上、1250人以上の会員を有すれば準地区として認定される。

なぜそのような発想になるかということ、たとえばキャビネット会議開催時、A地区では9リジョンの下に26のゾーンがあり、133(134)クラブが存在している。ゾーンチェアパーソン、リジョンチェアパーソンからご発言を3分以内でいただくが、年4回のキャビネット会議の中で35名が発言するので1時間45分を費やすことになる。審議についての回答に十分な時間が設けられない現状がある。現在全国には20の準地区が1県で存続している。336複合地区内では、B地区とD地区が2県で構成されている。他準地区と同様に2県で構成することによって会議の充実化と効率化が図れる。これを会員増強やLCIFの推進にもつなげていきたい。四国に準地区を2つ作ることが目下の課題である。

池原委員長から石井ガバナーへ質問

いつ頃の予定で分割をするのか？

A地区石井ガバナーより回答

まず、万機公論に決すべき、広く皆様のご意見を賜った後の結果であると考え。盤石な体制を構築する為には少なくとも1年以上はかかると思われる。

池原委員長から石井ガバナーへ質問

336複合地区に関していうと、準地区年次大会で決議をして賛否を問われて、実行されるとなると、分割がまず先ということか？

A地区石井ガバナーより回答

分割しないことには何も前に進まない。会費値上げもなし、役職の増設もなしで進めている。

池原委員長のコメント

長期ビジョンとして、仮定の話をした場合、他の3地区としてどういった運営をするべきか、この委員会の中で考える必要がある。まず、A地区の分割が完了し、その後四国が新たな複合地区としてステップを踏むのであれば、他の3地区もその流れに沿ったかたちで今後の運営について検討が必要である。こういう状況があるということを入れておいて欲しい。痛みを伴う改革が必要な時が来ている。また、複合地区ガバナー協議会事務局が岡山市に設置されているが、これについても検討していく必要がある。色々と動かざる得ない事態が予想されるので若い会員の皆様に意見を出して欲しい。

A地区伊藤篤史さんより質問

クラブとゾーンから問われているが、A地区の分割と今後の新複合地区化について、各地区ガバナーの心象をお聞きしたい。

D地区神田ガバナー

今まで通り一緒にやっていければよいと思う。しっかり意見を出し合うべきである。

C 地区西本第一副地区ガバナー

A 地区内で決められたことについて他地区が意見するべきではないと考える。

D 地区日下第一副地区ガバナー

西本第一副地区ガバナーと同意見である。最終的にはよい方向に向かえばよいと思う。

A 地区篠原第二副地区ガバナー

この話が上がった際に、A 地区の衰退を懸念し反対した。そんな中、選挙があと 2 回ある。ある方から「バツをつける」と言われている。世界最大のボランティア団体であるこの組織の中にこういった状況が生まれる体質自体を改善すべきだと感じる。なお、今ここでこのような話をしたことで更に選挙に影響する可能性があることも確かである。まだまだ慎重審議が必要ではないかと考える。

C 地区第二副地区ガバナー

A 地区皆様の総意にかかっている。

その他質問

A 地区盛岡さん

LCIF からロサンゼルス山火事の寄付金の件で通達があったが、日本ライオンズとして、国内の大船渡の山火事にも目を向けるべきではないかとの話が出ていた。336 複合地区としてどのような考えであるのか。

藤井議長より回答

現地 332-B 地区岩手のアラート委員長が現地避難所へ物資を運搬、現地では避難指示も解除、食事も賄っており物資も十分足りているため、日本レベルでの支援ではなく、332 複合地区内で募金等の活動を行っている。今回については 336 複合地区としての支援は要請されていない。

次回第 5 回委員会は 5 月初旬か中旬で予定、案内を 1 カ月前に行う。

5.閉会の辞 D 地区ガバナー 神田 義満

ライオンズクラブの組織を良い方向に進めていただきたい。

議事録作成人：A 地区委員長（第二副地区ガバナー） 篠原 孝尚

議事録作成人：C 地区委員長（第二副地区ガバナー） 平 謙介

議事録署名人：複合地区未来ビジョン委員会 委員長 池原 堅

承認日：2025 年 3 月 31 日

議事録署名人：複合地区ガバナー協議会議長 藤井 信英

承認日：2025 年 3 月 31 日

第5回 YCE 委員会 (WEB) 議事録

2025年4月14日(月) 10:00-12:00

WEB開催 (ZOOM システム 各デバイスより接続)

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ :

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC) 【欠席】
専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
YCE 委員会委員長	田中 雄一	(狭山 LC)
YCE 委員会副委員長	廣田 晃一	(姫路中央 LC)

24-25 年度 各複合地区 YCE 委員 :

MD330 委員	三宅 泰雄	(東京高輪 LC)
MD331 委員	繁富 敬史	(札幌中央 LC)
MD332 委員	洞口 勝則	(名取 LC)
MD333 委員	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
MD334 委員	中田 勇一	(下諏訪 LC)
MD335 委員	団 英男	(神戸みなと LC)
MD336 委員	小銭 和明	(倉敷東 LC)
MD337 委員	松枝 伸行	(宇土 LC)

オブザーバー :

日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
------------	-------	----------

以上

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 田中 雄一
2. 出席者の確認 松浦理事長は欠席 他委員全員出席を確認した
3. 議事録作成人の指名 MD335 団委員長が指名される。
4. 議題 確認事項および協議事項 ※議題について進行の都合上順番を変更した

① ホストファミリー手引き作成について

(1) 各 MD・地区より提出された手引きの確認

332-D 地区から提出があったホストファミリーの手引きのデータを基準とし、田中委員長が精査して各準地区 YCE 委員長の意見も聞きながらまとめる。

各複合委員長は次回委員会までに意見をまとめて事務局に提出のこと。

② OSEAL フォーラム(札幌)での YCE 活動について

各委員の意見を聞いた結果、どのような目的で開催するか、また次年度対応となるため今期で決定するのではなく、次年度の Y C E 委員長予定者の廣田副委員長に検討してもらうこととして、今期委員会としては第 62 回 OSEAL フォーラム(札幌)には組み込まないことを申し合わせた。あわせて今後の目標としてレオフォーラムとの共同開催も検討してしどうかという意見も出た。

③ YCE に関する社団一本化について

Y C E を日本ライオンズへ一本化することのメリット・デメリットをそれぞれの地区で話し合いをした上、次回委員会で発表をしてもらいたい。

急いで一本化する必要があるかも含め、長い目で考えることも必要ではないかという意見もあった。

④ その他

(1)YCE 生制服について

派遣先よりフォーマルな場での YCE 生の服装について申し送りがあった件の報告を受け、現在のユニフォームであるベストの他にジャケットをフォーマルな場でのユニフォームとするべきかどうか協議された。派遣先の国の文化や事情があり、場によって使い分けを行っていくことでいいのではないかという意見に集約。昨年度変更された YCE の手引きの中にもフォーマルな場ではベストの下に襟付きのシャツを着用する件などを記載しておりこちらの共有も行う。引き続き白のベストも正式なユニフォームとして採用し、必要に応じて以前のユニフォームであるブルージャケットもそれぞれの派遣国との調整で取り入れることにする件を申し合わせた。ブルージャケット以外にも着回しのしやすいジャケットの導入なども今後検討いただきたいと田中委員長より申し送りあり。

⑤ 今年度春季来日・派遣予定について

(1)各複合地区より来日・派遣予定の報告

資料に基づき、各複合地区から春季の派遣・来日の人数の確認のほか各種報告。

(2)その他

春季に来日予定だった YCE 生が LGBTQ であると連絡があった件の報告。今後このような事案があると思われるので指針を定めてはどうかという提案があった。

⑥ 今年度夏季来日・派遣予定について

(1)各複合地区より来日・派遣予定人数の報告

資料に基づき、各複合地区から夏季の派遣・来日の人数の確認をした。ディレクトリから直接連絡があった国についてはフリー国以外の場合、人数の関係などもあり必ず MD 担当窓口を通してほしい件についてルール制定なども視野に入れ要望あり。

【次回委員会日程調整】

第 6 回委員会 2025 年 5 月 16 日（金）10：00-12:00 WEB 開催

第 7 回委員会 2025 年 6 月 22 日（日）時間未定 於：仙台市

5. 閉会の挨拶 日本ライオンズ 専務理

議事録作成人：MD335委員長 団 英男

2024-2025_ライオンズクラブ様 献血推進・協力状況

対象期間：2025年1月～4月

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計	R6.1～6月 実績
受付者数	121人	2,023人	2,834人	3,327人	2,215人	1,198人	3,158人	3,869人	2,482人	21,227人	31,400人
献血者数 -①	107人	1,776人	2,374人	2,798人	1,957人	1,051人	2,792人	3,532人	2,289人	18,676人	28,016人
協力日数(稼働数)-②*	2.5	42.7	42.1	45.0	31.5	22.9	46.5	60.7	67.0	360.9	515.8
1稼働当たりの献血者数 (①/②)	42.8人	41.6人	56.4人	62.2人	62.1人	45.9人	60.0人	58.2人	34.2人	51.7人	54.3人
参加協カクラブ数(実数)	3団体	24団体	48団体	40団体	32団体	17団体	27団体	37団体	26団体	254団体	302団体

※協力日数(稼働数)について：終日の会場は1稼働、半日の会場は0.5稼働など、献血時間に応じて稼働数が変わります。

対象期間における 各県総献血者数	7,327人	6,753人	24,720人	39,034人	15,745人	8,739人	11,726人	17,124人	9,103人	140,271人	215,070人
中四国内総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	1.5%	26.3%	9.6%	7.2%	12.4%	12.0%	23.8%	20.6%	25.1%	13.3%	13.0%

2024-2025 年度 PR マーケティング委員会 第 1 回会議 議事録

日時	2025 年 4 月 25 日 (金) 14:00~16:30		
場所	一般社団法人日本ライオンズ事務所 および WEB 会議 (ZOOM) 併用		
出席者	<p>国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC)</p> <p>【一般社団法人日本ライオンズ】</p> <p>理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC)</p> <p>専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC) ○ZOOM</p> <p>PR マーケティング委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC)</p> <p>PR マーケティング副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC) *欠席</p> <p>理事会内担当/前理事長 田名部智之 (青森県・八戸 LC) ○ZOOM</p> <p>理事会内担当/副理事長 澤 辰水 (山口県・下関 LC) *欠席</p> <p>理事会内担当/常務理事 廣田 晃一 (兵庫県・姫路中央 LC) ○ZOOM</p> <p>理事会内担当/常務理事 藤井 信英 (岡山みらい LC) *欠席</p> <p>理事会内担当/理事 田中 雄一 (埼玉県・狭山 LC) *欠席</p> <p>理事会内担当/理事 新里 正雄 (沖縄 LC) ○ZOOM</p> <p>【複合地区委員長】</p> <p>3 3 0 複合地区広報マーケティング委員会 阿部 かな子 (東京ピース LC)</p> <p>3 3 1 複合地区MC・情報テクノロジー委員会 大津 知香 (北海道・札幌パイオニア LC)</p> <p>3 3 2 複合地区議長 (PR・IT 情報委員長代理) 渡邊 俊弥 (宮城県・仙台五条 LC) ○ZOOM</p> <p>3 3 3 複合地区マーケティング PR・IT 委員会 水沼 孝夫 (栃木県・真岡 LC)</p> <p>3 3 4 複合地区マーケティング委員会 三井 適夫 (富山県・黒部 LC) ○ZOOM</p> <p>3 3 5 複合地区MC 委員会 畑山 裕子 (兵庫県・西宮ホワイト LC)</p> <p>3 3 6 複合地区 IT・M・ライオンズ情報委員会 佐々木孝之 (岡山 LC) ○ZOOM</p> <p>3 3 7 複合地区 ICT 専門委員 梅木 孝一 (大分県・耶馬溪 LC)</p> <p>日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC)</p>		


次第 1	<p>開会あいさつ 松浦理事長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八複合各地ですばらしいアクティビティを行っている。これを全国の会員に伝えることが一番重要だ。それによって会員を増やしていくことがミッション 1.5 の成功につながる。 ・来期から社団の予算も整備されるので八複合の情報交換も容易になる。 ・委員の皆さんの忌憚のない意見を希望する。
次第 2	<p>国際理事あいさつ 濱野国際理事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際協会では指導力育成、会員増強、奉仕活動と並んでマーケティングを重要視し、複合、地区およびクラブにおいて常設委員会として、マーケティング委員会を設置することを推奨している。 ・一方、日本ではマーケティングに関してまだまだ遅れているので、委員の皆様にも推進をお願いしたい。 ・国際協会ではライオンズインターナショナル・マーケティング・アワードを発表しているが、日本からの応募が少ない。皆様のお力を貸して欲しい。
次第 3	<p>委員長あいさつ 星野委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングに関して国際協会の動きに造詣の深い濱野国際理事に多忙のところあえて参加をお願いした。 ・日本ライオンズの他の委員会は既に活動をしている中、マーケティング委員会は出遅れたが、これを契機に来年に向けて活動を活発化していきたい。
次第 4	出席者確認 上記の通り

	議事録作成人 星野委員長
--	--------------

議案 1	PRマーケティング委員会のミッション
内容	<p>複合地区・地区・クラブのマーケティング委員長の役割を参照しつつ役割を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GLT、GMT、GST、GET 単体ではそれぞれ一生懸命活動をしているが、マーケティングを含めた活動が現実にはなされていないと思う。マーケティングと一体になって活動することによってグローバルアクションチームがより効果的に機能すると思われるのに。(マーケティング委員会が設置されていない複合がある) ・PR とマーケティングは微妙に異なり、PR は良いイメージ形成のための情報発信を主にするが、マーケティングはもう少し積極的に、ライオンズクラブをもっと良く知ってもらい、ブランドの強化、支援者を増やそうという活動であり、国際協会はマーケティングを重要視している。との意見が出された。 <p>○特に重要なことは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングとはライオンズの知名度を上げること、または広めること ・GAT と協力すること ・そして最終的目的は「会員増強」であること <p>を確認した。</p>

議案 2	各複合地区の委員会活動に関する情報交換
MD 3 3 0	<ul style="list-style-type: none"> ・プレスリリース配信を行っている・・・ライオンズクラブを一般の人に知ってもらうためには、いろいろなニュース媒体に頻繁に取り上げられて報道されることが非常に有効と考えた。具体的には、プレスリリース代行会社を使うことにより多くの媒体(新聞、雑誌、ネット)に取り上げられている。プレスリリース代行会社のうち年間 15 万円と安いものを使っている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ライオンズ →記事→ プレスリリース代行会社 → ニュース媒体</div> <p>プレスリリース代行会社では記事の選別が行われるので、ニュース媒体に載せてもらうためには記事の書き方も工夫する必要がある。例えば著名人が関係するようになるとか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS では Facebook、Instagram、X、YouTube などそれらをよく使う年齢層に合わせた記事を出すようにしている。 ・また各地区のインフルエンサーによるリール動画を配信している。
MD 3 3 1	<ul style="list-style-type: none"> ・複合地区としてのマーケティング活動はしてない。地区ごとに行っている。 ・広報誌 (ECHO 誌) を年数回会員に配布。ホームページにデジタル版を掲載。 ・331-A 地区ではこの他、広報誌をノンライオンにも配付。ショート動画配信。 ・各地区で SNS 発信を始めたのは良いことだが、フォロワーの増やし方とか課題はある。 ・次年度はいろいろ新しいことにチャレンジするように申し送る。 <p>Comment: 広報誌も会員の情報交換から、これからは一般の人にも読んでもらえるように、またライオンズの魅力が伝えられるように、変えていく必要があるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライオン誌(紙媒体)も会員に配るだけでなく、一般に人が集まる場所に置く必要があるのではないか。地方紙には載るが広域紙にはなかなか載らないという連動性が無いことが問題であるが、今後連動性を持たせるべき。 ・ターゲットの年齢層に合ったマーケティングをすべきだが、詳しいことは今後の議論としたい。
MD 3 3 2	<ul style="list-style-type: none"> ・今は地区ごとに活動をしている状態であり、複合地区としての活動は行っていないので、それは今後の課題としたい。 ・332-C 地区ではガバナートゥデイを月 1~2 回発行し最新の活動状況をライオンに伝達。 ・中古メガネのリサイクル事業を行っているが、提携先の HOYA の店を通じて、ライオンズの活動が周知されている。 ・子ども食堂アプリ「L タウン」(自己開発)を 6 準地区で活用しており、子ども食堂の開催日時場所がわかる便利なもの。受益者は数万人いると推定。子ども食堂の施設の修理に LCIF から 3 万ドルの交付金が得られた。こういう活動から地道にライオンズの存在をアピールしている。

<p>MD 3 3 3</p>	<p>・会員事業所紹介アプリ「Go To ライオンズ」(店の紹介)を6準地区に広めるべく準備中。</p> <p>・今年度から従来のPR・IT委員会にマーケティングも加え、マーケティングPR・IT委員会とした。</p> <p>・マーケティング補助金を申請して、15,000ドルを獲得し、複合地区全域でFM放送を利用したライオンズクラブの活動と会員募集のラジオCMを作成し、流している。4~6月。</p> <p>・マーケティング補助金の申請期限が9月と早いので、急いだ。マッチング資金として10%を用意する必要がある。</p> <p>・今回の著作権は制限なく、他のライオンズでも自由に使用できるようにした。</p> <p>https://md333.org/lions/wp-content/uploads/2025/03/lions-CM.mp3</p> 
<p>MD 3 3 4</p>	<p>・各準地区に向けてICTの支援を3年間にわたって実施してきた。次の3点。</p> <p>・ホームページ構築ツール ~ ホームページを持っていない、持っていても内向きな情報伝達などで、外に発信していないクラブが多い。このツールは3種のテンプレートを持っていて、外に発信できるようにしている。</p> <p>・グループウェア「LC WEB」 ~ 使用が簡単で内部の情報共有に役立つ(出欠、行事案内など情報量が多い)。LINEにもつながるので重宝する。これまで使用が広がらなかったが、わかりやすい動画を作成し、さらなる利用促進を図る。</p> <p>・「Go To ライオンズ」 ~ 会員が経営している店を検索できるツール。普及がなかなか進まない。日本ライオンズで取りまとめて全国レベルにする(加盟店にリンク)と便利になる。</p> <p>・上記のアプリは全国のライオンズクラブにも使用を公開する。</p> <p>・日本のライオンズのICTスキルが非常に低いと感じ、これを何とかしないといけない。</p> <p>Comment : ・ライオンポータルは国際協会において使用(報告)の義務があるが、例えばZCは職務上使えなくてはならないのにもかかわらず、実際は半分くらいのZCは入ることすらできない。来期は各地区、もしくは社団も含めて、ZCや地区役員の底上げを期の最初からしていかなければならない。</p> <p>・各クラブのホームページは重要な物であるが、現在はそれを会員増強に結びつけるように変わってきている。ライオンズインターナショナル・マーケティング・アワードで表彰されているクラブは全て会員増強に結び付いている。ホームページ、SNS、QRコード付きの紙媒体などを活用している。そのように、会員増強に結び付くように変化していくことを期待する。</p> <p>・マーケティング・アワードの基準は現在は低いので、受賞のチャンスがある。</p> <p>・ライオンポータル登録時の本人への確認コードの送付問題に関しては、事務局が仮登録をし、その後本人のメールアドレスで変更するという(テクニック)で回避できる。</p>
<p>MD 3 3 5</p>	<p>・国際協会のマーケティング補助金を申請し、15,000ドルが承認された。それとマッチング資金1,500ドルとを合わせて、ライオンズ活動を紹介する動画「もっと♡ライオンズ アクティビティ編」を作成した。さらに動画と連動したデジタルリーフレットを作成した。(リーフレットは配付可) なお昨年も作成した(下の右二つのQRコード)</p> <p>・ミッション1.5に貢献するため、上記を拡散させている最中。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center;">もっと♡ライオンズ 若者と女性へのメッセージ</p> <p>・また各種SNSからも動画が見られるようにする。</p> <p>・関西万博においても、ノベルティグッズにQRコードを付けて配布予定。</p> <p>・複合地区年次大会のライオンズフェスタには一般の人もたくさん来るのでそこでも配布。</p> <p>・プレスリリースに努めたライオンズクラブを年次大会で表彰。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・複合地区の HP と準地区の HP が連動、複合地区の委員会の動きも発信。 ・国際会長公式訪問の動画作成。
MD 3 3 6	<ul style="list-style-type: none"> ・Lion Portal への移行登録の推進 336 複合地区全体としては約 30%が登録 ・ライオン誌ウェブマガジンの普及促進 ・今年から Facebook に 336 複合地区のアカウントを作成し、各クラブの投稿をシェアしている。
MD 3 3 7	<ul style="list-style-type: none"> ・337 複合地区にはマーケティング委員会はない。 ・各準地区においては委員会はあるが、目立った動きは無い。 ・IT に得意な人がいるクラブは発信している。 ・マーケティングに関しては、337 複合地区は遅れている。ホームページですらできていないクラブが沢山ある。 ・作成後、更新されずに古いままになっているホームページがあるが、それは良くない。他のホームページからのコピーは情報が自動的に更新されないため、リンクにとどめておくのが良い。 ・国際協会からの情報（下記サイト）を活用すべきでは？ https://www.lionsclubs.org/ja/resources-for-members/resource-center/club-marketing 

議案 3	八複合地区共通のマーケティング関連の課題
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングを簡単に考えよう、国際協会はブランドを重要視している、八複合はワンチームで取り組もう、更新しないホームページは作らない、各複合地区で必ずマーケティング委員会を設置する、GAT と協力する。 ・ライオン誌の記事作成は今年度から内製化しているので、載ることがそんなに特別のことではないと知ってほしい、部数を多めに買って外部への情報発信にもっと活用すべきではないか、内容も充実しているので、飛びつく人もいないのではないか。 <p>Comment：・ライオン誌はツールとして積極的に PR に使うべき。ライオンズのグッズを普段から身に着けるとかのぼり旗を作るとか、Facebook、Instagram などできることからやろうと八複合の委員会から呼びかけるべきだし、プレスリリースの活用、ホームページのテンプレートの活用など、日本ライオンズで共有し地区やクラブに降ろしていくのがいい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR 動画には外国人でなく日本人が出てほしい。我々の仲間の動画が入るといい。 ・335 複合地区が作成した PR 動画は無料で使用可能なので、活用してほしい（ライオンズはワンチーム！）、同様に 333 複合地区が作成したラジオ CM も他地区と共有できるので活用してほしい。 ・献血のところでもこういう動画を流しっぱなしにした方がいい。万博のブースではそうする。 ・マーケティング補助金を活用する場合、会員増強と言う結果を出さなくてはならない（報告義務）ので頑張る。 ・マーケティング委員会を 1 回開いて分かったが、これを継続的に開いて情報交換を続けることが極めて重要だと皆同意した。 ・また GAT の各チームも日本ライオンズのもとに八複合で集まって情報交換することが大切だと思う。複合ごとにバラバラでは何をしたらいいかわからないところも出てくる。日本ライオンズではその枠を作成したのだから、次年度はぜひ活用してほしい。 ・レオクラブなど若い子たちは、Instagram に載せると情報が伝わりやすい。 ・議事録作成は結構負担がかかる。文字起こしソフトもある。（※今後研究を要する）

議案 4	ライオン誌の活用とウェブマガジン普及
内容	<p>星野委員長より、ライオン誌委員会でのウェブマガジンの普及に関する事例の紹介があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライオン誌はマーケティング上重要なツールであるが、ウェブ化が進展する中、ウェブマガ

	<p>ジンのアクセス状況が非常に低いことがわかり、問題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自クラブで実験した結果、存在・方法・必要性を教えられていないことが原因で普及率が低かったため、たった 10 分の研修でもついてこられる人がかなりいることが分かった。 ・今後地区レベルで、各クラブの推進担当者を指導・育成していく必要があることを改めて確信した。
--	---

議案 5	その他（来期に向けての申し送り）→ 佐藤次期委員長へ
内容	<p>これまでの議論を集約すると、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近年国際協会ではマーケティングを重要視するようになった。これは単なる PR ではなく、ライオンズクラブの知名度を上げ、最終的に会員増強に結び付けるような活動を言う。GAT のチームと協力してそれにあたる。この変化を周知してほしい。 2. 全ての複合にマーケティング委員会を必ず設置してほしい。 3. 来期はなるべく早くマーケティング委員会を開き、年に複数回会議を開催し、情報交換を促進してほしい。 4. 他の複合で行っている良いアイデアは取り入れるなどして、八複合全体で協力し合って行う。また同様に他の複合で使っているツール類も他の複合地区でシェアできるか考えてみる。 5. マーケティングのターゲットの年齢層に応じた効果的なツールは何かを議論し、共通認識を得る。そして多様なマーケティング・ツールをうまく使いこなすよう促進する。 6. 外部への情報発信は、これまでのライオンズ組織内の情報伝達にとどまることなく、もっと一般の人に向けた内容に変えていく必要がある。 7. ライオン誌印刷版は会員のみ配布にとどまらず、一般の人の目に留まる場所に配布し、ライオンズクラブの存在を広めることに利用する。 8. Lion Portal、ライオン誌ウェブマガジンの普及のため全地区を挙げて、地区役員およびライオンズクラブに研修・指導を行う。 9. 議事録作成の負担軽減のために文字おこしソフトもできれば研究する。 10. 社団（日本ライオンズ）で GAT の各チームも八複合で取りまとめる委員会を必ず開き、日本ライオンズの存在材価値を高める。

次第 6	閉会あいさつ 田名部前理事長
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いい取り組み・いい意見が多かったと思う。 ・そういう意味では今年度開催が遅くなったことは残念であった。 ・来年度は今回出た課題の中で、日本ライオンズとして解決できることも多いと思われるので、松浦理事長は次期理事長にしっかり引き継ぎ、前理事長として、新委員および継続する委員の方と共に、これをさらに発展させていただけるよう、お願いいたします。

議事録作成人：PR マーケティング委員長 星野勝美
2025. 05. 05

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第9回会議 議事録

日時	2025年4月7日(月)14:00~16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室(Zoom)
出席者	<p>国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC)</p> <p>国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC)</p> <p>【一般社団法人日本ライオンズ】</p> <p>理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC)</p> <p>専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC)</p> <p>PR マーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC)</p> <p>PR マーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC)</p> <p>ライオン誌日本語版委員</p> <p>編集長/337 複合地区委員 瀧野二三世 (大分 LC)</p> <p>330 複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光 LC) * 欠席</p> <p>331 複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東 LC)</p> <p>332 複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲 LC)</p> <p>333 複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西 LC) * 欠席</p> <p>334 複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島 LC)</p> <p>335 複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡 LC)</p> <p>336 複合地区委員 佐々木孝之 (岡山 LC)</p> <p>日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC) * 欠席</p>

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野、城阪両国際理事、松浦理事長からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	<p>① 2024年7月~25年2月ライオン誌関係会計報告</p> <p>ライオン誌直接接出版費は変わりなし、デジタル版関連費が少し増加していることを確認した。</p> <p>② 2025-26年度予算案</p> <p>前回委員会での検討結果を反映した次年度予算案を確認した。印刷版発送の経費に関しては、来期より社団の賛助会費が値上げされるのに伴い送料は全て社団負担となり、発送は当面、現状通りに個人宛とクラブ宛のいずれかクラブが選択した方法で行うと</p>

	の社団の方針について説明があった。
決定事項	②2025-26 年度予算案は次回委員会で改めて確認する。

議案 2	ウェブマガジン編集関係
内容	<p>① 2025 年 4 月号(4 月 1 日公開)出来公開済みの 4 月号を確認。特に問題なし。</p> <p>② 2025 年 5～7 月号更新予定(案)</p> <p>7、8 月号「取材レポート」で取り上げる奉仕活動の内容と、取材経費概算を確認した。また、「獅子吼」投稿 1 件の内容を確認して意見を交換し、採否を検討した。</p>
決定事項	②7、8 月号「取材レポート」の取材対象を決定し、経費概算を承認した。「獅子吼」投稿は内容に即したタイトルに変更し、不明確な点を加筆した上で掲載することを決定した。

議案 3	印刷版編集関係
内容	<p>① 2025 年春号(4 月 25 日発行予定)台割事前に送付された春号の記事 PDF で内容を確認した。</p> <p>② 2025 年夏号台割案</p> <p>夏号台割を確認した。オーランド国際大会の記事を掲載するため、通常 7 月 25 日としている発行日の変更を検討した。</p> <p>③ ウェブマガジン連動企画</p> <p>以前に行われていたクイズ、プレゼントなどが取り組みやすく実行が早い。読者プレゼントは地区の名産やオーランドで開催される国際大会の公式グッズ等の提案があった。</p>
決定事項	<p>②夏号の発行日を 8 月 5 日に決定した。</p> <p>③次回委員会で具体案を検討する。</p>

議案 4	その他
内容	<p>① ウェブマガジン普及策</p> <p>星野委員長から所属クラブで実施したライオン誌ウェブマガジン普及例会の概要とその結果のアンケートの報告があった。</p> <p>普及策について意見を交換し、地区を通じてライオン誌例会の開催を進める案や、委員の SNS の名前の後にライオン誌の URL を入れる、アンケートの実施、各委員が地区の会議などでライオン誌やウェブマガジンについて常に話題にして浸透を図る、といった案が出た。</p>

	<p>② ライオン誌日本語版メールニュース 4月号メールニュースの発送数は25,066件、4月3日時点の開封率は25.1%、6,249件との報告があった。</p> <p>③ ライオン誌公式版ウェビナー報告 星野委員長から3月5日に行われた国際本部によるライオン誌公式版ウェビナーの参加報告があり、プレゼンテーション資料が共有された。</p> <p>④ ライオン誌公式 SNS 登録はほぼ横ばい(LINE登録2月末6,144人、3月末6,198人、Instagram登録2月末590人、3月末589人など)の現状を確認した。</p>
<p>決定事項</p>	<p>①普及策の検討を次回委員会でも継続する。</p> <p>②メールニュースの開封数とLINE登録者数が近い値であり、しばらくは継続して様子を見ていく。</p>
<p>次回以降 開催予定</p>	<p>第10回：5月12日(月) 14:00～16:00／Zoom</p> <p>第11回：6月13日(金) 14:00～16:30／日本ライオンズ事務所・Zoom 併用</p>

議事録作成:佐々木孝之(336複合地区委員)

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第10回会議 議事録

日時	2025年5月12日(水) 14:00~16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室(Zoom)
出席者	<p>国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻LC) 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港LC) 【一般社団法人日本ライオンズ】 理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなすLC) 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田LC) * 欠席 PRマーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田LC) PRマーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海LC)</p> <p>ライオン誌日本語版委員</p> <p>編集長/337複合地区委員 瀧野二三世 (大分LC) 330複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光LC) 331複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東LC) 332複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲LC) 333複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西LC) * 欠席 334複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島LC) * 欠席 335複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡LC) 336複合地区委員 佐々木孝之 (岡山LC) 日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖LC)</p>

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野、城阪国際理事、松浦理事長からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案1	ライオン誌日本語版の運営
内容	<p>① 2024年7月~25年3月ライオン誌関係会計報告 ライオン誌直接出版費については、発行3回分としての計上のため前回から変更なし。デジタル版関連費については、9回分の計上である。外部委託がないため支出は少なくなっている。予算通り執行されているとの報告があった。</p> <p>② 2024-25年度予算案 社団の予算案からライオン誌の項目を抽出した資料について説明があった。ライオン誌直接出版費について、次年度からライオン誌送料収入はなくなり、社団持ちとなる。個人発送とクラブ発送が、どのような割合になるかは別として、今年度と同じ</p>

	<p>予算としている旨の説明があった。また、デジタル版関連費については予備も含めて反映した予算であり、全体として大きな変動はないと報告があった。</p>
--	--

議案2	ウェブマガジン編集関係
内容	<p>① 2025年5月号(5月1日公開)出来 「トピックス」掲載予定の国際大会公示/公式通達/国際第3副会長候補者の原稿は国際本部からの配信待ち状態である旨の報告があった。届き次第アップする。</p> <p>② 2025年6～8月号更新予定(案) 7月号では、国際理事2名にオーランドでの退任の原稿をお願いする。 また、8月号に関して、大阪・関西万博ライオンズフェスタを取り扱うかどうかについて検討。取材して取り上げることがふさわしいとなった。 9月号「取材レポート」の取材対象候補をピックアップした。対象クラブに詳しい情報を確認する。</p>
決定事項	<p>②国際理事退任の原稿を国際理事2名に依頼する。 大阪・関西万博取材についてはMD335北岸委員が取材を担当する。</p>

議案3	印刷版編集関係
内容	<p>① 2025年春号(4月25日発行/80,200部)出来 姫路中央LCより、表紙シリーズ「日本の世界遺産」に、姫路城とクラブアクティビティのラッピングバスが一緒に写った写真を使ってほしいとの依頼があった。今年度の表紙シリーズは次年度も引き継がれるとは限らないため、要望に関する検討は次年度委員会で行う必要がある。</p> <p>② 2025年夏号台割(案) 8月5日発行。国際会長の表紙写真、国際会長テーマは、近く国際本部から配信される予定。地区ガバナー紹介の原稿は6月26日締切で依頼済み。裏表紙について、春号に続き札幌フォーラムのPRとするか、LINEのPRとするか話し合った。</p> <p>③ ウェブマガジン連動企画(案) 「ウェブマガジン連動記事」「新会員向け記事」の新企画案について説明があった。連動記事のライオンズ雑学クイズは、例会でも利用できると高評価だった。クイズ回答を掲載するウェブマガジンのページのQRコードを付けるとより分かりやすいとの意見があった。 新会員向け企画のライオンズ情報記事は、過去70年分のライオン誌記事からピックアップした内容を基に作成したもので、これも評価が高かった。地域による違いもあるので、「あなたの地区、クラブはどうですか?」との呼びかけ記載してレスポンスを待つてはどうかとの意見が出た。毎号、新会員1名を紹介するコーナーは、年間4人</p>

	<p>を选考するため基準を作る必要があるとの意見が出た。ウェブマガジンなら12回も可能になるが、これも含めて选考方法を検討することとした。</p>
決定事項	<p>①次年度の表紙等は次年度の決定することであるため、要望は引き継ぐこととした。 ②夏号の裏表紙は、札幌フォーラムのPRに無償提供する。また、オセアルフォーラムのステアリング委員会の記事を1～2ページで掲載する。 ③新会員の紹介欄については选考の基準と方法を定める。</p>

議案4	その他
内容	<p>① ウェブマガジン普及策 委員会で検討を重ねてきたが、このまま続けても芳しい成果が出ない懸念がある。ライオン誌委員会の中だけでは難しいため、ライオンポータルと合わせ、トップダウンで進めていく機会を作ることが必要ではないかと報告があった。また、各複合地区、GATとの連携を構築することも必要であるとの意見があった。一方で、ライオン誌例会を広げることも重要であるとの意見もあった。</p> <p>② ライオン誌日本語版メールニュース メールニュースの開封率は25%程度であることを確認。迷惑メールに入ってゆかない工夫が必要。開封率は決して悪くない数字であるが、更に上げていく方策を探っていく。やはり、これに対しても、ライオン誌例会の開催が要望された。</p> <p>③ ライオン誌公式SNS 各SNSの登録者数の資料を確認した。</p>

次回開催 予定	<p>第11回：6月13日(金)14:30～16:45／日本ライオンズ事務所・Zoom併用 第12回：7月24日(木)14:00～16:00／Zoom</p>
------------	--

議事録作成:北岸秀規(335複合地区委員)



私たちのモットー

We Serve! われわれは奉仕する

ライオンズは、ニーズのある世界に奉仕しています。

ライオンズクラブ国際協会は、
世界200の国及び地域で奉仕を行う49,000のクラブと
140万人以上の会員を擁する世界最大の奉仕団体です。
1917年に創設されて以来、ニーズがあるところに、
ライオンズがいることを証明し続けています。

ライオンズクラブ国際協会335複合地区ガバナー協議会

〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3大阪駅前第3ビル1411 TEL 06-6345-3135



「もっと♡ライオンズ」

アクティビティ

～地域のニーズに応えるライオンズ～



ライオンズクラブ国際協会335複合地区ガバナー協議会

ライオンズクラブ国際協会

国または地域 **200**以上

約 **49,000** クラブ

会員数 約 **140** 万人



ライオンズクラブは、世界最大の奉仕団体です。

ライオンズの奉仕は地球上の至るところに及んでいます。

200を超える国と地域で奉仕する49,000のクラブと140万人の会員は、他者を支援し地域社会を改善しています。

「もっと♡ライオンズ」 アクティビティ ～地域のニーズに応えるライオンズ～

※ライオンズクラブでは奉仕活動のことを「アクティビティ」と言います。

人道支援事業

地域活性化活動

私たちは、必要とされる人々に人道支援を届けています。ライオンズがこの思いやりの精神を各地域社会に届けられるよう支援するのが、ライオンズクラブ国際財団(LCIF)です。

人道支援活動を通して、世界中の人々の日々の暮らしと心の安定を高め続ける手助けをして

います。

地域活性化のために青少年健全育成事業なども支援しています。

環境保全事業

清掃奉仕活動
植樹活動
生き物調査活動

私たちは、より健やかな地域社会と、より持続可能な世界を実現するために、自然環境保全に取り組んでいます。清掃による環境の浄化、植樹による大気浄化と環境の健全化、資源の保全とリサイクルによる廃棄物の削減、環境保全教育など、様々な活動を行っています。



食料支援事業

子ども食堂活動
フードバンク活動
食品ロス削減
貧困対策

私たちは、飢えを緩和するため、食料安全保障と栄養価の高い食料への改善に取り組んでいます。

「1日の食事が給食のみ」といった子どもたちの貧困や孤食、育児放棄があります。地域の子どもは地域で育てると全国各地で「子ども食

堂」が展開されています。食事の提供に留まらず、保護者の支援や児童虐待の防止、地産地消の食育や集いの場の提供などを行っています。

フードバンクは、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品を困っている人に無償で提供する活動です。

視力保護事業

アイバンク活動
中古眼鏡の回収活動
盲導犬育成支援募金活動

私たちは目の不自由な人々を支援してきました。回避可能な失明を予防するとともに、目の不自由な人の生活の質向上を支援します。

ライオンズ・アイバンクは、医療施設との協力関係を確立しています。角膜を必要とされる方と角膜を提供していただく方の架け橋となり、献眼について知っていただくために活動しています。

ライオンズは、矯正眼鏡の切迫した必要性を認識しており、眼鏡リサイクル・プログラムを支援するため、各地域社会で使用可能な眼鏡を収集して必要とされる国と地域に贈っています。盲導犬の育成には公的な助成が少なく、ライオンズが中心になって盲導犬育成のための寄付や募金活動を行っています。

献血推進事業

献血奉仕活動

私たちは、病気の治療や手術などで輸血を必要としている人の尊い命を救うために、献血推進活動をしています。ライオンズクラブは、日本の献血量の10%を確保しています。



糖尿病予防啓発事業

HbA1c血糖値無料測定活動
ストライドイベント活動
加古川ツーデーマーチ

私たちは、糖尿病の蔓延を抑えるとともに、糖尿病を抱かえる人々の生活を改善することに取り組んでいます。専門家による血糖値無料測定を行い、ヘモグロビンA1c(エイワンシー)の数値で糖尿病の診断や健康管理を指導します。

ストライドイベントとは、歩いたり走ったりすることによって糖尿病予防啓発をしようというイベントです。

小児がん支援活動事業

ヘアドネーション活動

私たちは、小児がんを患う子どもとその家族の支援活動をしています。抗がん剤治療のため髪を失った子どもに対して、寄付された髪の毛を用いて医療用ウィッグ

を製作して提供するヘアドネーション活動をしています。

災害援助事業

被災地支援活動
被災地支援募金活動
被災地支援チャリティバザー

私たちは、自然災害に見舞われた地域社会の緊急支援と、長期的な支援を行っています。災害がいつどこで起ころうとライオンズアラート委員会は真っ先に駆けつけて援助します。



青少年健全育成事業

ライオンズクエスト活動
薬物乱用防止教室活動
青少年スポーツ支援活動
レオクラブ活動
YCE(YOUTH CAMP & EXCHANGE)
青少年交換・国際ユースキャンプ支援
国際平和ポスター・コンテスト

私たちは、若者が健全で生産的な生活を送り、次世代の奉仕のリーダーになれるよう支援します。

ライオンズクエストは、子どもたちが健やかに成長できるためのスキルを身につけさせることを目指しています。

薬物乱用防止教室活動は、青少年の薬物乱用を防ぐため、薬物に対する正しい知識や乱用の恐ろしさを指導する貴重な奉仕活動です。

また、野球、サッカー、フットサル、バレーボールなど様々なスポーツ大会などの支援や各種育成団体への支援も行っています。

レオクラブは、青少年に奉仕活動の経験を通

じて、リーダーシップを育み、地域及び国内、国際社会の一員として成長するための機会を提供しています。

YCEとは、若者を対象とした国際交流プログラムです。世界各国のクラブと、短期の国際青少年交換留学を行い、異文化を学び、国際キャンプで平和を促進する国際関係を築くことを目的としています。

国際平和ポスターコンテストは、世界中の子どもたちが自らの平和へのビジョンを表現します。このポスター作成は芸術と独創性によって世界を感動させる機会を与えています。

地域に貢献したい! 被災地支援をしたい! 奉仕の輪を広げたい! 自分の能力を磨きたい!

ライオンズが地域社会の増え続けるニーズにより良い形で応え、これまで以上に多くの人に奉仕を届けられるよう今、Mission 1.5(ミッションワンポイントファイブ)という、世界中で会員数150万人を達成しようという取り組みをして、奉仕の拡大を図っています。

自らの時間と才能を捧げ、力合わせて恵まれない人々を支援することほど、幸せを感じさせてくれるものはありません。

私たちの仲間に入り、高まり続ける地域社会のニーズに応えるために一緒に奉仕活動をしましょう。



MISSION 1.5

ぜひ、動画で我々の“アクティビティ”をご覧ください。



ライオン誌 SNS 登録者の推移と利用状況

●ライオン誌 SNS 登録者の推移

SNS名	運用開始日	2020年1月	2020年12月末	2021年6月末	2021年12月末	2022年6月末	2022年12月末	2023年6月末	2023年12月末	2024年6月末	2025年3月末	2025年4月末
LINE	2020年1月	105	2,271	2,767	3,205	3,848	4,339	5,204	5,590	5,775	6,198	6,216
Facebook	2011年6月	1,414	1,661	1,729	1,756	1,829	1,905	1,917	1,941	1,938	1,949	1,938
X (旧Twitter)	2010年6月	290	443	476	502	528	546	574	599	608	633	638
Instagram	2016年3月	134	362	407	420	452	472	498	543	562	589	590
Youtube	2011年3月	62	282	400	432	501	570	623	685	740	795	802

●LINE : 2020年1月運用開始

・友だち登録 2020年1月現在 : 105人 → 2025年4月末現在 : 6,216人

<https://lin.ee/hUQUU0Y>

原則月4回(ウェブマガジン公開、投稿レポート募集、Youtubeチャンネル案内、印刷版発行 or 初級編案内)配信

※2020年3月からライトプラン利用(月額5,000円 15,000通/月)上限:登録4,250人

※2022年12月からスタンダードプラン利用(月額15,000円 45,000通/月)

※2023年6月からプラン内容変更によりスタンダードプラン(月額15,000円 30,000通/月)

配信メッセージ月4回=7,500人上限、月3回=10,000人上限

●Facebook : 2011年6月運用開始

・フォロワー 2020年1月現在 : 1,414人 → 2025年4月末現在 : 1,938人

<https://www.facebook.com/LION.MAG.JP>

月次更新時に主要記事を順に投稿 投稿レポート、トピックス公開時にも投稿

●X (旧 Twitter) : 2010年6月運用開始

・フォロワー 2020年1月現在 : 290人 → 2025年4月末現在 : 638人

<https://x.com/lionjp>

ウィークデーに主要記事をツイート

投稿レポート、トピックス公開時にもツイート

●Instagram : 2016年3月運用開始

・フォロワー 2020年1月現在 : 134人 → 2025年4月末現在 : 590人

<https://www.instagram.com/lionmagjp>

月次更新時に取材レポートの写真を順に投稿

●Youtube : 2011年3月運用開始

・チャンネル登録者 2020年1月現在 : 62人 → 2025年4月末現在 : 802人

<https://www.youtube.com/user/LionmagJP>

月次更新時に新しい動画を公開 同時にビデオマガジンもチャンネル内で公開